

第七十一回
帝國議會
貴族院

關稅定率法中改正法律案特別委員會會議事速記録第一號

付託議案

關稅定率法中改正法律案

昭和七年法律第四號中改正法律案

大正十四年法律第五十一號中改正法律案

鐵ノ輸入税免除ニ關スル法律案

大正九年法律第五十三號中改正法律案

昭和十二年勅令第三百三十號(承諾ヲ求ムル件)

委員氏名

委員長 伯爵黒木 三次君

副委員長 男爵東郷 安君

伯爵岩倉 具榮君

侯爵筑波 藤麿君

子爵伊東二郎丸君

子爵裏松 友光君

子爵高橋 是賢君

山川 端夫君

男爵大藏 公望君

男爵安場 保健君

菅原 通敬君

稻畑勝太郎君

磯村豊太郎君

佐々木八十八君

大澤徳太郎君

山田仙之助君

水野甚次郎君

出光 佐三君

昭和十二年八月五日(木曜日)午後二時九分開會

○委員長(伯爵黒木三次君) ソレデハ是ヨリ委員會ヲ開催致シマス、付託サレテ居リマス案件ハ、關稅定率法中改正法律案、昭和七年法律第四號中改正法律案、大正十四年法律第五十一號中改正法律案、鐵ノ輸入税免除ニ關スル法律案、昭和十二年勅令第三百三十號、大正九年法律第五十三號中改正法律案、此ノ六件デゴザイマスガ、中最後ニ讀ミ上ゲマシタノハ、是ハ拓務關係ノモノデゴザイマスルカラ、前ノ五件ダケヲ一括致シマシテ、大藏當局ノ先ヅ説明ヲ求メタイト思ヒマス

○政府委員(中村三之丞君) 關稅定率法中改正法律案ニ付キマシテハ、曩ニ本會議ニ於キマシテハ大藏大臣ヨリ大體ノ説明ガアリマシタガ、此ノ機會ニ於キマシテ少シク敷衍致シマシテ御説明ヲ申上ゲタク存ジマス、先ヅ第一ニ第七條第四號ノ二ノ削除デアリマス、是ハ御承知ノ通り直接燃料ニ供

スル礦油ノ中ノ比重〇・九〇四ヲ超エタルモノヲ政府ノ許可ヲ受ケ輸入スル場合、其ノ輸入税ハ免税スルト云フ規定デゴザイマスルガ、本規定ハ確カ大正九年ニ當時石炭ノ價格ガ騰貴致シマシタ爲、各種工業ニ對シテ液體代用燃料ノ使用ヲ獎勵スル趣旨ニ依リマシテ定メラレタモノト記憶致シマスガ、目下ノ事情ハ是ト反對トナリマシテ、液體燃料ノ代用品ヲ製造スルコトヲ獎勵スル必要ガ緊急トナリマシテ、此ノ事業ノ達成ニハ相當ノ犧牲ヲモクシム譯ニハ參ラス事情ニアリマスノデ、礦油ニ對スル關稅率ヲ引上グルト同時ニ、此ノ免税規定ヲモ廢止シ、液體代用燃料事業ノ達成ニ資シタイト考ヘルノデアリマス、唯漁業用礦油ニ對スル免税ノ實績ハ、從來其ノ全部ガ必ズシモ漁民等ノ利益トハ相成ツテ居ラスヤウニ見受ケラレマスノデ、中小漁民ニ對シ惡影響ヲ及サザルヤウ豫算等ニ於テ是等ノ點ハ十分考慮致シテ居ルノデゴザイマス、次ハ同條第十二號ノ改正デアリマスルガ、本號ノ改正ハ政府ノ輸入スル酒精ノ製造原料ノ關稅ヲ免除セムトスル規定ヲ追加致シマシタノデアリマシテ、是ハ代用燃料ノ一トシ

テ政府ハ無水酒精ヲ製造致スコトニ致シマシタガ、其ノ原料ガ國內ニ於テ不足ヲ來シタ場合、海外ヨリ之ヲ輸入スル必要アル時ニ對スル用意ニ外ナラスノデアリマス、次ハ同條第二十三號ノ次ニ第二十四號ト致シマシテ新ニ免税品ヲ追加致シタノデアリマスガ、是ハ航空機、又ハ航空機用ノ發動機、若シクハ「プロペラ」ヲ政府ノ許可ヲ受ケテ輸入スル場合ニハ免税ヲスルト云フ規定デゴザイマシテ、是ハ本邦航空界ノ發達ヲ圖ル爲、新規ナル航空機等ヲ製作見本トシテ輸入スル際ハ、關稅ヲ免除シテ其ノ輸入ヲ便ニスル趣旨ニ依ルモノデアリマス、次ニ第九條第二項ノ改正ニ付テ申上ゲマス、同項ハ主トシテ本邦ニ於テ必要ナル物品ヲ製造スル原料品ノ關稅ヲ免除スル規定デゴザイマシテ、所謂製造免税ト稱シテ居ルモノデアリマスガ、「バルブ」ハ本邦重要産業ノ原料トシテ必要缺クベカラザルモノデアリマスカラ、此ノ「バルブ」ノ原料トナル木材ヲ輸入シテ「バルブ」ヲ製造スル時ハ、原木ノ關稅ヲ免除シ、以テ本邦「バルブ」工業ノ發達ノ一助ニ資スルト云フノガ其ノ目的デゴザイマス、尙此ノ際便宜附則中ノ經過

の規定ニ付テ一言申上ゲマス、即チ燃料用
 礦油ニ對スル關稅免除制度ノ廢止ニ伴フ經
 過の規定デアリマスガ、是ハ舊規定ニ依リ
 既ニ關稅ノ免除ヲ受ケタル物品ノ關稅等ニ
 付キマシテハ、仍チ從前ノ例ニ依ルコトト
 シタノデアリマス、次ニ別表中ノ礦油外九
 品ノ關稅率ノ改正ニ關シマシテ簡單ニ御説
 明申上ゲマス、第一ハ礦油ノ關稅改正デア
 リマス、御承知ノ如ク礦油ハ重要ナル
 液體燃料デアアルニモ拘ラズ、本邦ニハ其
 ノ資源乏シキ爲、是ガ對策ヲ講ズルコト
 ハ喫緊ノコトデアリマス、其ノ爲ニハ石
 炭液化事業又ハ代用燃料ノ製造等獎勵
 助長ヲ要スルコトガ多クアルノデゴザイ
 マス、輸入礦油ニ對シテモ關稅ヲ引上ゲ、
 是等國策事業ノ達成ニ資スル要アリト認メ
 タノデアリマス、而シテ引上ノ率ト致シマシ
 テハ「ガソリン」「ガロン」ニ付五錢ヲ目標
 トシ、燈油類ハ大體「ガソリン」ト從價割合ガ
 同ジナルヤウニ改正致シ、原油ニ對シテハ
 其ノ揮發油分ノ含量ニ對シ「ガソリン」關稅
 引上ニ順應シテ比例的ニ稅率ヲ引上ゲ、尙分
 類ノ方法ト致シマシテハ、原油類モ大體比
 重ニ依ルコトニ改メタノデアリマス、又機
 械油類ノ稅率モ大體從價ニ割五分程度ノ從
 量稅ニ改正致シマシテ、内地機械油製造業

ノ保護ニ資スル考デアリマス、礦油ニ關ス
 ル以上ノ改正ハ全ク前議會ニ提案致シマシ
 タ儘ノモノデアリマスルガ、今回ハ滿洲
 ニ於テ生産セラレル人造石油類ヲ無稅トナ
 ス爲、礦油ノ中カラ石炭又ハ油母頁岩ニヨリ
 製造シタルモノヲ特掲致シマシテ、之ヲ無
 稅トシ、之ニ伴ヒ稅表ノ區分モ變更致シタ
 ノデアリマス、次ニ今回新タニ二ツノ改正
 ガ附加セラレタノデアリマス、即チ其ノ一ツ
 ハ第二百七號ノ二トシテ石炭「ガス」ヲ特掲
 シテ無稅トスルモノデアリマシテ、是ハ朝
 鮮ノ新義州ニ於テ滿洲ノ安東ヨリ鐵管デ石
 炭「ガス」ノ供給ヲ受ケ、各家庭ニ配給スル
 コトニ相成リマシタニ付キマシテ、之ヲ無
 稅トスル必要ガ生ジタノデアリマス、又他
 ノ一ツハ印刷料紙中新聞用紙ハ、其ノ用途
 等ニ顧ミマシテ之ヲ無稅ト致シタ次第デゴ
 ザイマス、尙製紙用「パルプ」ナル名稱ハ不
 適當デアリマスルノデ、今回纖維素「パ
 ルプ」ト改メルコトニ致シタノデアリマス、
 次ハ自動車及同部分品ノ關稅改正デアリ
 マスガ、自動車ハ只今從價五割、部分品
 ノ方ハ從價四割二分デアリマシテ、佛國ト
 ノ稅率協定ガゴザイマスノデ、兩者トモ協
 定稅率ハ三割五分ニ相成ッテ居リマス、本邦
 自動車工業ノ確立ハ是亦國策トシテ急速ニ

其ノ實現ヲ圖ル必要ガアリマスノデ今回自
 動車ハ從價七割ニ引上ゲ、部分品ハ主ナル
 部分品ヲ掲名シテ分類シ、各自ニ從價六割
 ニ相當スル從量稅ヲ配シタノデアリマスガ、
 前ニ申上ゲマシタ如ク「フランス」トノ稅率
 協定ノ關係上、改正後ハ自動車ハ從價四割九
 分、部分品ハ大體從價五割ノ從量稅ナル
 コトニナルノデアリマス、以上申上ゲマシ
 タ自動車部分品ノ中ニハ、原動力機タル内
 燃機關ハ含レテ居リマセズデ、自動車用
 內燃機關ノ稅率モ此ノ際同時ニ改正シテ、
 從價五割ニ相當スル從量稅ニ改メタノデア
 リマス、次ニ針布ノ關稅改正ニ付テ申上ゲ
 マス、針布ト申シマスモノハ、布帛又ハ皮
 革等ニ銅鐵等ノ針ヲ植付ケタモノデアリマ
 シテ、機械ニ取付ケ纖維ヲ取揃ヘタリ、煙
 草ヲ揃ヘタリ、又ハ布帛ノ表面ヲ起毛スル
 等ニ用フルモノデアリマス、本品ハ本邦ニ
 於テモ其生産ガ開始セラレテ居ルニモ拘ラ
 ズ、其ノ稅率ガ著シク低率ナル爲ニ常ニ輸
 入品ニ壓迫セラレテ居リマスノデ、其ノ稅
 率ヲ引上ゲ、之ガ保護ニ資スル考デアリマ
 ス、次ニ軸受及同部分品ノ關稅改正デアリ
 マス、是ハ機械ノ回轉部分ニ使用セラレテ
 居リマスル甚ダ重要ナモノデアリマシテ、
 其ノ生産ニ關シマシテハ關係當局ニ於テモ

十分獎勵策ヲ講ジテ居ルノデアリマスガ、
 何分ニモ現行稅率ガ比較的低率デアリ、且
 今回獎勵金交付ノ期間モ滿了シマシタ點ヲ
 モ考慮シテ、其ノ稅率ヲ引上ゲ保護ヲスル
 必要アリト認メタノデアリマス、次ニ「カサ
 ヲアルト」ノ關稅率ヲ每百斤一圓六十五
 錢ニ引上ゲマシタ理由ハ本品ハ糊料等トシ
 テ内地ノ小麥粉及澱粉等ト競争ノ狀態ニ在
 ル爲、是等内地澱粉業ヲ保護スル目的ニ外
 ナラスノデアリマス、最後ニ變性糖蜜ハ從
 來ノ從價二割ヲ課セラレテ居リマシタガ、
 近來「グリセリン」ノ製造方法ニ醱酵法ガ
 採用セラル、ヤウニナリ、從價糖蜜ハ是等
 事業ノ必要ナ原料ト相成リマシタガ、本品ノ
 供給ハ潤澤デアリマセズノデ、今回從價五分
 ニ引下ゲ「グリセリン」製造業ノ利便ニ供ス
 ル考デアリマス、最後ニ一言御斷リ申上ゲマ
 スガ、前回ニ提案致シマシタ「ヨード」ノ關稅
 改正デアリマス、之ハ「チリ」國トノ談合ガ
 付キマシタノデ、今回ハ之ヲ見合ハセマシテ、
 事情ノ推移ニ留意スルヲ適當ト認メタ次第
 デゴザイマス、尙御質問ニ依リマシテ、ソレゾ
 レ關係當局ヨリ御答申上ゲタイト存ジマス、
 昭和七年法律第四號中改正法律案ニ付キマ
 シテハ曩ニ本會議ニ於キマシテ大藏大臣ヨ
 リ大體ノ説明ガアリマシタガ、此ノ機會

ニ於キマシテ少シク敷衍シテ御説明ヲ申上
ゲタイト存ジマス、昭和七年法律第四號ト
申シマスノハ、御承知ノ通り輸入税ノ從量
税率ニ關スル法律デアリマシテ「關稅定率
法別表輸入税表ニ定メラレタル從量税率ハ
當分ノ内之ヲ百分ノ百三十五トス、但シ同
輸入税表ニ掲グル物品ニシテ本法ノ別表ニ
掲クルモノ、從量税率ハ此ノ限ニ在ラス」
ト云フノデアリマス、今回ノ關稅定率法中
改正法律ニ依リマシテ、其ノ税率ヲ改正セ
ラルベキ物品中從量税ヲ盛ラレテアル礦
油、自動車部分品、自動車用内燃機關、機
械部分品ノ中針布及「ベアリングボール」、
「カッサヴァルート」ノ諸品ニ付テハ其ノ生産、
輸入及需給ノ關係等諸般ノ事情ヲ勘案シ
テ、其ノ税率ヲ定メタモノデアリマスルカ
ラ、此ノ上三割五分ヲ附加スルノ必要ヲ認
メナイノデ、前例ニ依リマシテ本法ノ別表
ニ追加スルコトトシタノデアリマス、尙新
聞用紙ハ從來本法ノ別表ニ掲ゲラレテ居リ
マシタガ、今回ハ改正セラレテ無税トナリ
マスニ付テハ、是ハ本表ヨリ削除セラレル
コトト相成ルノデアリマス、以上ハ全ク關
稅定率法ノ改正ニ伴フ整理的ノ改正ニ過ギ
ナイノデアリマス、次ニ今回ハ砂糖ノ外十
四品ニ關シテ、昭和七年法律第四號ノ實質

的ナ改正ヲ行フノデアリマスガ、其ノ趣旨
ヲ申上ゲマス、御承知ノ通り本法ニ依リマ
シテ、從量税率ト從價税率トノ權衡モ今日
迄相當保タレテ居リマスルガ、何分ニモ最
近ノ物價ノ趨勢等カラ見マシテ、本法ニ依
リ三割五分ノ附加税ガ課セラレテ居ルモノ
ノ中重要ナル數種ノモノニ付キマシテハ、
此ノ際少クトモ三割五分ノ附加税ハ除外致
シタ方ガ適當デアルト考ヘラレルノデアリ
マス、就キマシテハ砂糖ノヤウナ國民生活
ニ關係ノ深イモノ、苛性曹達ノ如キ化學工
業ノ基礎トナルモノ、綿織絲、毛織絲、毛
綿織絲、人絹及「バルプ」ノヤウナ重要纖維
工業ノ原料、印刷料紙及包裝用紙ノ如キ文
化教育ニ關係深キモノ又ハ銅、鉛、亞鉛及
錫等ノ如キ重要金屬ノ關稅率ハ三割五分ノ
課税カラ之ヲ除外シ、物價調整ノ一助ニ資
シタイト考ヘマス、是等物品ノ選定ニ付キ
マシテハ國內産業トノ關係モ十分考慮致シ
マシタ次第デアリマス、尙砂糖外十四品ニ
關シマシテハ、取引ノ實情ヲ顧慮シマシテ、
其ノ實施期ハ昭和十二年十月一日ヨリト
スルコトニ致シタノデアリマス、大正十
四年法律第五十一號ト申シマスノハ、御
承知ノ通り、關東州ノ生産ニ係ル物品ノ輸
入税免除ニ關スル法律デアリマシテ、本

法ノ別表甲號ニ掲ゲラレタ物品ハ、輸入
税全額免除トナリ、乙號ニ掲ゲラレタ物
品ハ一部免除、即チ輸入税ヲ低減セラルル
コトトナツテ居ルノデアリマス、關東州ノ
生産ニ係ル大豆油ヲ原料トシテ、關東州ニ
於テ製造致シマシタ大豆硬化油ハ、此ノ別
表乙號ノ方ニ掲ゲラレテ居マシテ、毎百斤
一圓二十錢ト云フ低減セラレタ税率ト相
成ツテ居ルノデアリマス、處ガ大豆硬化油ノ
製造ニ供スル大豆油ニ付キマシテハ、昨年
八月、關稅定率法第九條ノ規定ニ基ク大正
十年勅令第二百三十八號ニ依リマシテ、其
ノ輸入税ヲ免除スルコトト致シマシタ關係
上、關東州ノ生産ニ係ル大豆油ヲ以テ、
關東州デ製造致シマシタ大豆硬化油モ、其
ノ輸入税ヲ全額免除スルコトガ權衡上カラ
申シテモ適當デアルト云フ考ヲ以チマシ
テ、現在本品ガ別表乙號ニ掲ゲラレテ居ル
モノヲ、甲號即チ輸入税全額免除ノ表ノ
中ニ移スコトト致シマシタ次第デアリマ
ス、以上ハ前議會ニ提案セラレタモノデ
ゴザイマスガ、今回ハ其ノ外硝酸「アンモ
ン」ヲ新タニ別表甲號ニ追加シテ免除ス
ルコトニ致シタノデゴザイマス、最近關
東州ノ滿洲化學工業株式會社ニ於テ相當
額ノ硝酸「アンモン」ノ生産ヲ見ルニ至ッ

タノデアリマス、本品ハ重要ナ硝酸爆藥
ノ原料デアリ、又笑氣「ガス」等ノ毒瓦斯ノ
製造ニ使用セラル、重要ナル化學藥品デア
リマスノデ、今回特惠關稅ノ甲號ニ之ヲ追
加シマシテ、輸入税ノ全額ヲ免除致シマシ
テ、本品ノ輸入ニ便ニシヨウトシタノデゴ
ザイマス、尙詳細ノコトニ付キマシテハ御
質問ニ依リマシテソレ／＼關係當局ヨリ御
答致シタイト存ジマス、鐵ノ輸入税免除ニ
關スル法律案及昭和十二年勅令第三百十號
ノ承諾ヲ求ムル件ニ付キマシテハ、曩ニ本
會議ニ於キマシテ大藏大臣ヨリ説明ガアッ
タノデアリマスガ、此ノ機會ニ於テ重ネテ
御説明ヲ申上ゲタイト存ジマス、前議會ニ
鐵ノ輸入税免除ニ關スル法律案ガ提出サレ
審議未了ニ終ツタノデアリマスガ、其ノ後ニ
於ケル鐵ノ供給不足ト、其ノ價格ノ暴騰ト
ハ公私ノ重工業ノ圓滑ナル運行ヲ阻害シ、
延イテ一般産業ニ重大ナル影響ヲ及シ、國
家緊急要務タル國防ニ支障ヲ來ス虞ガアリ
マスノデ、去ル四月十五日勅令第三百十號
ヲ以テ、鐵ノ輸入税免除ニ關スル緊急勅令
ガ公布セラレタノデアリマス、仍テ帝國議
會ノ承諾ヲ求ムル爲茲ニ之ヲ提出シタ次第
デアリマス、然ルニ鐵ノ輸入税ニ付キマシ
テハ、其ノ生産、輸入、需給等ノ狀況ニ顧

ミ、前議會ニ提案致シマシタ通り、昭和十四年六月迄ヲ最長限度トシテ之ヲ免除シ、且鐵ノ市況、又ハ輸入ノ狀況等ノ變化ニ備ヘル爲ニ、物品ヲ指定シテ免除期間ヲ短縮シ得ルコトトスルノガ適當デアルト認メラレマスノデ、茲ニ之ニ關スル法律案ヲ提出致シ、曩ノ緊急勅令ハ之ヲ廢止スルコトニ致シタイノデアリマス、尙詳細ノコトニ付キマシテハ御質問ニ依リマシテソレノ關係當局ヨリ御答致シタイト存ジマス

○委員長(伯爵黒木三次君) 然ラバ次イデ大正九年法律第五十三號中改正法律案ノ御説明ヲ拓務當局ヨリ御願ヒ致シマス

○政府委員(八角三郎君) 大正九年法律第五十三號關稅定率法、保稅倉庫法及假置場法等ノ朝鮮ニ於ケル特例ニ關スル法律中改正法律案ニ付テ御説明申上ゲマス、本案ハ其ノ提出ノ理由ニ付キマシテハ、本會議ニ於テ御説明申上ゲタ通りデアリマスガ、此ノ機會ニ於キマシテ更ニ詳細ニ御説明申上ゲテ置キタイト存ジマス、改正ノ第一點ハ、第二條第八號ヲ設ケマシテ、朝鮮ニ於テ揮發油ニ混入スベキ「アルコール」ノ製造ニ供スル原料品ハ、朝鮮總督ノ認可ヲ受ケテ輸入スルモノニ限り輸入稅ヲ免除セムトスルモノデアリマス、朝鮮ニ於キマシテモ、燃

料國策ニ順應致シマシテ、大體内地ト同様ノ揮發油及「アルコール」混用制度ヲ實施スル計畫デゴザイマス、混入用「アルコール」ノ製造ハ内地ニ於テハ政府ノ製造專賣ニ依ルコトトナツテ居リマスルガ、朝鮮ニ於テハ差當リ政府ノ免許ヲ受ケタル民間事業者ヲシテ之ニ當ラシムル方針デゴザイマス、而シテ朝鮮ニ於キマシテ、主トシテ木材屑ヲ原料トシテ「アルコール」ノ製造ヲ致シマスル關係上、木材屑ヲ入手シ易イ平安北道新義州ニ工場ヲ建設中デゴザイマスガ、對岸安東方面ヨリ原料品タル木材屑ヲ輸入スル爲ニ、相當高率ノ關稅ヲ課セラルル次第デゴザイマス、然ルニ内地ニ於テ政府ガ其ノ「アルコール」製造專賣ノ爲、輸入スル原料品ニ對シマシテハ、別途提案セラレマシタル關稅定率法中改正法律案ニ依リマシテ輸入稅ヲ免除セラルルコトト相成ツテ居リマスノデ、之ト同様混入用「アルコール」ノ低廉豐富ナル供給ヲ圖リマス趣旨ニ於キマシテ、朝鮮ニ於ケル混入用「アルコール」ノ製造原料品ニ對シマシテモ其ノ輸入稅ヲ免除セムトスルモノデゴザイマス、改正ノ第二點ハ、日滿陸接國境ヲ經由スル交通貿易ノ進展ヲ圖リ、陸接國境隣接地域内ノ住民ノ利便ニ資スル等ノ爲ノ改正デアリマス、即チ第二條第六

號ト致シマシテ、從來關稅免除ノ取扱ヲ受ケテ居リマス所ノ旅客又ハ貨物ヲ運搬スル爲、國境ヲ出入スル車輛ガ外國ニ於テ破損シマシタル場合ニ、其ノ破損シマシタル車輛並ニ其ノ解體材及備品、附屬品ヲ朝鮮内ニ引取ルトキニハ是等ノ物品ニ對シ輸入稅ヲ免除セムトスルモノデアリマス、次ニ陸接國境隣接地域内ニ於キマシテハ、對岸滿洲國側ニ相當ノ市街地ヲ控フルニ拘ラズ、朝鮮側ニ於キマシテハ同程度ニ發達シタ市街地ノ無イ地方ガ少クナイノデアリマシテ、是等地方ノ住民ハ器具、機械日用品等ヲ加工又ハ修繕スル爲對岸ノ市街地ニ輸出シ再ビ之ヲ輸入スル場合ガ多アルノデアリマス、斯カル場合ニ一々輸入稅ヲ課スルコトハ實情上苛酷デアリマシテ、國境地方住民ノ不便ガ甚ダシイノデ、第二條第七號ヲ以チマシテ、是等物品ヲ六箇月内ニ再輸入致シマス場合、其ノ輸入稅ヲ免除セムトスルモノデアリマス、次ニ南滿洲鐵道株式會社ガ朝鮮總督ノ委託ヲ受ケテ經營シテ居リマスル北鮮ニ於ケル鐵道運輸營業ノ如キハ、營業主體ガ外國ニ在ル關係上、鮮内ニ於キマスル貨客ノ輻輳ノ際ニ應ジ得ルダケノ車輛ヲ常備シテ居ナイノデ、臨時ニ本社等カラ借入レ使用スル場合ガ多イノデアリマシテ、又軍事輸送ノ場

合ノ如キニ於キマシテモ、鮮内ノ鐵道車輛ガ不足致シマス際ニ臨時ニ滿鐵カラ借入レ、之ヲ鮮内貨客ノ輸送ニ使用スルコトガアルノデアリマス、斯様ナ場合ニ於テハ現行規定デハ其ノ車輛ノ輸入稅ヲ免除スル途ガゴザイマセスガ、斯クテハ日滿運輸交通ノ進展ガ阻害セラルルバカリデハナク、鮮内貨客ノ輸送上ニモ多大ノ支障ヲ來シマスノデ、第二條ノ二第一號ヲ以チマシテ、是等鐵道車輛及其ノ備品、附屬品ニシテ一年内ニ再輸出セラレルモノニ對シテ輸入稅ヲ免除セムトスルモノデゴザイマス、尙同條第二號ト致シマシテ、現在著々進捗中ノ國境河川ノ橋梁ノ架設工用器具、機械トカ、近ク著工ノ見込ノ鴨綠江水力發電工用ノ器具、機械トカ又ハ國境地方住民ノ冠婚葬祭用具トカラ對岸ヨリ一時借入使用致シ、一年以内ニ再輸出シタ場合、是等ノ物品ニ對シ輸入稅ヲ免除セムトスルモノデゴザイマス、次ニ第七條ノ二ヲ設ケマシテ雄基、羅津及清津ノ三港ニ於キマシテ滿洲特產品ノ保稅地域内ノ作業ニ付、特殊ナ取扱ヲ認メムト致スモノデゴザイマス、是等ノ港ニ出廻リマスル大豆或ハ豆粕等ノ如キ滿洲特產品ハ包裝ノ不完全、乾燥、精選ノ不十分等ノ爲ニ港頭ニ於キマシテ改裝、仕分、混合ト云ツタ

ヤウナ作業ヲ必要トスルノデゴザイマシテ、
現行ノ規定デハス様ナ作業ハ保税倉庫カ又
ハ保税工場デナケレバ出来ナイコトニナッ
テ居ルノデゴザイマスルガ、北鮮三港ハ東
北滿洲ノ經濟的門戸タルノ使命ヲ與ヘラレ
テ居リマシテ、滿鐵ニ其ノ經營ヲ委託サレ
マシタ特殊ナ港デゴザイマスルノデ、是等三
港ニ限ッテ税關長ガ外國貨物ヲ藏置シ得ベ
キ場所ニ指定シマシタ所謂指定保税地域ニ
於キマシテモ亦保税倉庫、保税工場ニ於ケ
ルト同様、貨物ノ改裝、仕分、混合ノ作業
ヲ行フコトヲ得セシメ、以テ此ノ港ノ機能
ヲ十分ニ發揮シ、朝鮮通過貿易ノ進展ト與
地滿洲ノ開發ニ資セムト致スモノデゴザイ
マス、改正ノ第三點ハ第三條ヲ改正致シマ
シテ、輸入税免除ノ特典ヲ與フル製鐵事業
者ノ資格ヲ改正セムトスルモノデゴザイマ
ス、現行法ニ於キマシテハ一年三萬五千噸
以上ノ能力ヲ以テ鉄鋼一貫作業ヲ營ム製鐵
事業者ニ對シ、其ノ事業ニ使用スル器具機械
類ヲ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケテ輸入スル場合ニ
限り輸入税免除ノ特典ヲ與ヘテ居ルノデア
リマシテ、此ノ規定ハ製鐵業獎勵法ニ於ケ
ル製鐵業者ノ事業用品ニ對スル輸入税免除
ノ規定ト同様デゴザイマス、然ルニ今回別
途提案セラレテ居リマスル製鐵事業法案ニ

依リマシテ、製鐵業獎勵法ガ廢止セラレ、
事業用品ニ對スル輸入税ノ免除ヲ受ケベキ
製鐵事業者ノ資格ヲ改正セラレマスルノニ
對應致シマシテ、此ノ法律ニ規定セル製鐵
事業者ノ資格ヲモ同様ニ改正セムトスル次
第デゴザイマス、尙第二條第一號及第八條
ノ面トアリマスルモノヲ邑面ト改正致シマ
シタノハ、先ニ實施セラレマシタ朝鮮ニ於ケ
ル地方制度ノ改正ニ伴フ字句ノ修正デゴザ
イマス、以上ヲ以テ大正九年法律第五十三
號中改正法律案ノ提案理由ヲ大體御説明申
上ゲタ次第デゴザイマス、尙御質問ニ依リ
マシテ御答ヘ申上ゲルコトト致シマス
○委員長(伯爵黒木三次君) チョット速記
ヲ止メテ下サイ

(速記中止)

○委員長(伯爵黒木三次君) 速記ヲ始メテ
下サイ

○男爵大藏公望君 其ダ勝手デスガ、脇ノ
委員會ニ參リマスノデ、先ニ質問サセテ貰
ヒマス、先ニ大藏當局ニ伺ヒタイノデスガ、
今回ノ分ハ先程御説明ガアツキヤウニ、二件
以外ハ前ノ議會ニ御提出ニナツタモノヲ其ノ
儘御出シニナツタノデスガ、然ルニ此ノ前ノ
議會以來北支事變ニ伴ッテ色々情勢ガ非常
ニ變化シテ居リマスノデ、恐ラク他ニモマ

ダ關稅ニ依ッテ其ノ輸入ヲ成ルベク阻止シ
タリ、若シクハ國際收支ノ關係上下ウシタ
イト云フヤウナモノガアリハシナイカト斯
ウ思ハレマスガ、何カ御考究中ノモノガア
リマスカラバ大凡ヲ承ッテ置キタイ

○政府委員(太田正孝君) 今回法案ヲ出ス
迄ニハ北支事變ノ關係ハ中ニ入ッテ居リマ
セス、併シナガラ金融、爲替、輸出入、全
面ニ付キマシテ、事件ノ進行ニ伴ッテドウ處
理シテ宜イカト云フコトニ付テ、各方面ノ
研究ヲ重ネテ居リマスノデ、研究ガマダ此
ノ法案ヲ出ス時ニハ、北支事件關係ノモノ
ハ考慮セズニ出テ居ルノデゴザイマスガ、
今研究中デゴザイマシテ、其ノ必要ガアル
場合ニハ早ク其ノ措置ニ出タイト考ヘテ居
リマス

○男爵大藏公望君 其ノ主ナモノハドウ云
フモノヲ御心配ニナツテ居ラシヤルカ、現
在御考究中ノモノノ大凡ノ品名デモ伺ヘマ
セスカ

○政府委員(太田正孝君) ソレニハ勿論輸
出禁止トカ、輸入禁止トカ、各方面ノ問題
ガアリマスノデ、マダ品目ヲ申上ゲルト云
フ所迄參ッテ居リマセスノデアリマス、同様
ナ關係ニ於キマシテ、例ヘバ爲替管理ニ於
キマシテモ、能ク事務當局ノ口ニスル如ク

不要品或ハ不急品ト云フヤウナモノヲ制限
シタイ、不急品、不要品ハ何カト云フト、
矢張り關稅關係ト同ジヤウニ考慮スベキ問
題ト思ヒマスノデ、此ノ方面ニ付キマシテ
モ、品目ヲマダ申上ゲル所迄參ッテ居リマセ
ス

○男爵大藏公望君 次ニ鐵ノ問題ニ付テ伺
ヒタイノデスガ、是ハ商工省ノ方竝ニ對滿
事務局ノ方ニ伺ヒタイノデスガ、此ノ鐵ノ
輸入税ヲ免除シマスレバ、日本ノ欲スル量
ガ凡ソ輸入シ得ル見込ガアルノデゴザイマ
セウカ、若シナイトスレバ其ノ對策ハドウ
ナツテ居リマセウカ、又鐵ニ關シテハ凡ソ何
年頃ニ此ノ自給自足ノ域ニ達スルカ、大體
ノ御計畫ヲ承リタイノデアリマス

○委員長(伯爵黒木三次君) 鑛山局長ヲ今
呼びニ行ッテ居リマス

○男爵大藏公望君 其ノ間ニ對滿事務局ノ
方ニ伺ヒタイ、其ノ御計畫ノ中ニ必ズ滿洲
ノ鐵ト云フモノモ包含サレテ居ルモノト思
ヒマスガ、又滿洲ニ關シテハ單ニ鐵ノミナ
ラズ、昨今謂ハレテ居リマス日滿産業一體
ト云フコトノ御方針ガ既ニ御立チニナツタ
カ、若シクハ今後御立デニナルニ相違ナイ
ト思ヒマスガ、大體日滿産業ノ關係ヲ、殊
ニ鐵ニ付テドウ云フヤウニ御取扱ニナリマ

セウカ、一應ノ御方針ヲ承リタイノデアリマス

○政府委員(青木一男君) 現在ニ於キマシ

テハ御承知ノ通り、昭和製鐵所ト本溪湖ノ兩製鐵所ニ於テ生産シマス鐵礦ノ内、本溪湖ノ分ハ全部鉄鐵トシテ内地ニ持ッテ参リマス、昭和製鐵所ノ分ハ大部分ヲ鉄鋼一貫作業ニ依リマシテ製鋼原料トシテ鉄鐵ニ使ヒマスガ、其ノ中一部ハ内地ニ鉄鐵トシテ輸入シテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、昨年ノ昭和製鐵所ノ生産能力ハ大體鉄鐵ニ致シマシテ五十萬噸位デゴザイマスガ、本年ノ四月ニ第二期増産計畫ガ完成致シマシテ、本年恐ラク六十五萬噸位ニハナル積リデゴザイマス、最近第三期増産計畫ニ著手シテ居リマスカラ、是ガ完成致シマスレバ、之

ニ依ッテ増産スル約四十萬噸ノ鉄鐵ハ其ノ儘内地ニ鉄鐵トシテ持ッテ來ル豫定ニ致シテ居リマス、ソレカラ只今御話ノ日滿ヲ通ジテノ製鐵政策ノ内、滿洲ノ負擔スル分ト致シマシテハ、只今申上ゲマシタ昭和製鐵所ニ付キマシテモ、更ニ第四期ノ増産計畫ニ依ッテ之ニ應ズル方針デ居リマス、本溪湖ニ付テモソレ相當ノ増産計畫ヲ立テ、更ニ只今東邊道地方ニ於テ鐵礦ノ資源調査ヲヤッテ居リマス、是ガ若シ豫定ノ通り有望ナ

ルコトガ確定致シマスレバ、東邊道ノ一部ニ製鐵所ヲ造リタイト云フ腹案ヲ持ッテ居ルノデアリマシテ、此ノ三箇所ノ増産計畫ニ依リマシテ、滿洲ニ於ケル一切ノ鐵ノ需要ニ應ズル外、内地ニ於ケル不足資源、即チ鉄鐵ヲ十分滿洲ニ於テ供給シタイ、其ノ適當ナル割當ガ滿洲ニモ行ク譯デアリマスカラ、其ノ分モ含メテ滿洲ノ製鐵政策ヲ立テタイ、斯ウ云フ大體ノ計畫デ居ルノデゴザイマス

○男爵大藏公望君 チョット私ノ伺ヒ方ガ

下手ダツタカ、マダハッキリシナイノデアリマスガ、大體ニ日本ノ製鐵政策ト云フモノガ日鐵本位デアッテ、從來ハ滿洲ノ製鐵ト云フモノハ全ク外國竝ニナッテ居ルヤウナ有様ノヤウニ伺ッテ居ルノデアリマス、私ノ考ヘマス所ニ依リマス、一朝有事ノ際ニハ幡製鐵所ガ輸入シテ居ル外國カラノ原鐵ト云フモノハ、全部止ルト云フコトヲ考ヘナケレバナラス、滿洲カラ参リマスルモノハ殆ド安全ニ参リマスガ、南洋方面カラ参リマスル原鐵ハ殆ド全部止ッテシマフト云フ風ニモ考ヘラレルノデアリマス、從ッテ唯日本ノ不足分ヲ滿洲デ補フト云フヨリハ、又一方カラ申シマシテ日滿ノ産業ト云フモノヲ本當ニ深ク考ヘマス時分ニハ、日滿兩國

ノ鐵ト云フモノヲ併セテ、日本ノ産業ノ基礎ニシナケレバナラス、單ニ日本ノ不足分ヲ補フノデハナイ、此ノ二ツノモノヲ中心ニ考ヘナケレバナラス、斯ウ云フヤウニ考ヘルノデアリマスガ、政府ノ御方針ハ如何デゴザイマセウカ、其ノ點ヲ伺ッタノデゴザイマス、尙序デアリマスガ、鑛山局長ニ伺ヒタイト思ヒマスガ、御見エデゴザイマスカ……是ハ確カ青木サン御存ジダト思ヒマスガ、現在鞍山ノ製鐵所ノ庭ニハ既ニ出來上ツタ九千噸ノ鉄鐵ガ轉ガッテ居ル、之ヲ

○男爵大藏公望君 ソレデハ次ニ油ノ問題

日本ニ輸入シヨウトシテモ輸入爲替ノ管理デ大藏省ノ方デヤカマシイノデナカ……入ラナイ、日本デハ一應デモ欲シイト云フノニ、全ク矢張り外國竝ニ九千噸ノ鉄鐵ガ轉ガッテ居ルト云フコトハ、私共ニ解シ兼ネルノデアリマス、何故ニ日滿ノ産業ト云フモノヲ本當ニ一體ニ御考ヘニナラナイノデアラウカト云フコトデ、平素不審ニ考ヘテ居ルノデアリマスノデ、殊ニサウ云フ質問ヲ出シタノデアリマス

○政府委員(青木一男君) 只今ノ御話ノ事

實ハ私能ク存ジマセヌデゴザイマシタガ、鉄鐵デアリマスレバ勅令ニ依ッテ無稅デ入ルコトニナッテ居リマスルカラ、若シ御話ノ如キ事情ガアルト致シマスレバ、ソレハ稅ノ關係以外ノ問題ガアルカドウカト、私チヨット知リマセヌガ、尙取調ベテ御答ヘ致シマス

○男爵大藏公望君 別ニ御返事ハ要リマセ

スガ、ドウカ大藏省ノ方ト能ク御相談ニナッテ、斯ウ云フ鐵ノ不足ノ時分ニハ矢張り日滿産業一體ト云フコトデ進ンデ願ヒタイト思ヒマス、マダ御見エニナリマセヌカ……

○委員長(伯爵黑木三次君) マダ十分位掛

ルサウデス

到ル處「バス」ノ競争ガアル、鐵道省ノ省營

「バス」ノ如キモ現在アル所ニ又行ハレル、

矢張り「ガソリン」ノ費消ト云フコトニナル

ノデアリマス、各方面トモ自分ノ方ノ仕事

ニノミ熱心デ、如何ニシテ此ノ「ガソリン」

ヲ節約スルカト云フコトニ付テハ、官廳ノ

中ニ於テハ協力ニナツテ居ラナイ、唯商工省

ダケデ御唱道ニナリマシテモイケンナイノデ

ハナイカ、是ハ能ク商工省ノ方ニ於キマシ

テ、有ラユル「ガソリン」ノ消費ノ方面ニ付

テ、詳細ナ御取調ヲ願ッテ、其ノ御考ノ所ハ

ビシ／＼御要求ニナツテハドウカ、斯ウ云フ

感ヲ深クスルノデアリマス、又「ガソリン」

税ヲモット上ゲテモ宜イノデハナイカ、日本

ガ一番低イノデ、五十一錢ト云フ「ガソリン」

ハ世界中ニナイヤウナ譯デアリマスガ、サ

ウスレバ直グ「タクシー」ガ止ルト云フコト

デ何時デモ反對ノヤウデアリマスガ、然ラ

バ場合ニ依リマシテハ「ガソリン」ノ税ヲ上

ゲテ、自動車税ノ方ヲ下ゲル、自動車税ハ

随分高イノデアリマスガ、自動車税ノ手加

減ニ依ッテ「ガソリン」税ヲ高クシテ、サウシ

テ日本ノ人造石油ノ方ヲ盛ニスルト云フコ

トモ考ヘラレマスルガ、色々「ガソリン」ノ

コトニ付キマシテハ消費ノ節約ナリ、若シ

クハ他ノ方法ニ依ッテ「ガソリン」ヲモット上

ゲテ、ソレニ依ッテ日本ノ代用品ヲ盛ナラシ

ムルト云フコトモ考ヘラレル、斯ウ思フノ

デアリマスガ、如何デアリマセウカ、何カ

御工夫デモアルナラバ承リタイ

○政府委員(竹内可吉君) 「ガソリン」ノ節

約ニ付キマシテ御尋ガゴザイマシタガ、今

日市中ノ交通信號ガ實際ノ交通ト副ハナイ

ト云フ意味デノ御話デアリマス、實ハ甚ダ

申譯ゴザイマセスガ、私氣ノ付カナイ問題

デアリマス、十分能ク調査致シマシテ、之

ヲドノ程度ニ調整スルコトガ出来マスカ、

其ノ調整ニ依リマシテ相當程度ノ「ガソリ

ン」節約ニナルコトデアリマシタナラバ、

是非其ノ方面ノ當局ト懇談ヲ重ネテ見タイ

ト思ヒマス、ソレカラ尙其ノ外總テノ交通

機關ノ上ニ付テ商工省ダケデナク、他ノ關

係官廳ト連絡ヲ取ツテヤルヤ「ウ」ニト云フ御

話デゴザイマス、是モ實ハ商工省ト致シマ

シテモ、マア極ク露骨ニ申上ゲマスト、躍

起ニナツデ實ハヤツテ居ルノデゴザイマス、

併シマダ私共ノ志ノ通りニ實行ガ出来ナイ

コトガ多々實ハゴザイマシテ、今日燃料國

策ノ決マリマシタラ機會ニシマシテ、各方

面トノ連絡ハ十分取り得ルヤウナ仕組ニモ

ナリマシタノデ、今後一層力ヲ用ヒタイト

思ヒマス、「ガソリン」税ノ引上ノ要ニ付テ

實ハ私共モ御同様ニ考ヘテ居ル次第デゴザ

イマス、何分ニモ主トシテ東京デゴザイマ

スガ、所謂圓「タク」ト云フヤウナモノノ狀

態ガ極メテ無統制デアリマシテ、「ガソリ

ン」ニ付テノ價格政策ヲ執ラムトスル場合

ニ、實ハ是ガ何時デモ支障ヲ來シテ居ルノ

ガ打明ケテ話デアリマス、ソレデ私共ノ考

ト致シマシテハ、ドウシテモアノ不合理ナ

料金制度ニ一大改正ヲシテ貫ヒマシテ、「タ

クシー・メーター」ヲ附ケルト云フコトニシ

ナケレバ、是ハハイカスモノダト云フ結論ヲ

實ハ持ツテ居ルノデアリマス、ソレヲ實行致

シマスノニドウ云フ方法デヤレバ宜イカ、

急激ニヤリマスト云フト、ソコニ相當ナ負

擔ヲ掛ケルコトニナリマス、其ノ負擔ノ緩

和ト云フコトガ實ハ今日實際問題トシテ私

共中心ノ問題トシテ議シテ居ルヤウナ譯デ

ゴザイマス、警視廳當局トモ懇談ヲ重ネテ

居リマシテ、今商工省ノ中ニ自動車營業改

善委員會ト云フモノガゴザイマスガ、ソコ

ノ中心ノ問題トナツテ居ル譯デゴザイマス、

近イ中ニ成案ヲ得ルコトダト思ッテ居リマ

ス

○男爵大藏公望君 尙モウ一ツ木材ノコト

ヲ伺ヒタイノデスガ、ドナタカ御出デゴザ

イマセウカ

○委員長(伯爵黒木三次君) 御出ニナルサ

ウデゴザイマス

○男爵大藏公望君 確カ此ノ前ノ議會ノ衆

議院ノ委員會ニ於ケル速記録ヲ拜見致シマ

シタガ、其ノ時分ニ木材ノ輸入ガ相當今、

日本ニハアル、ソレハ成ルベク適當ナ機會

ニ其ノ輸入税ヲ下ゲルヤウニ考ヘテ見タイ

ト云フ風ナ答辯ヲ何トカト云フ大藏書記官

ノ方カラ御答辯ガアリマシタ、私共平素

思ッテ居リマスノハ、滿洲ノ木材ヲ何故日本

ニ輸入ガ出来ナイノカ、無税ニナラナイカ

云フコトヲ不審ニ思ッテ居リマス、尤モ日本

ノ木材業者ノ保護ト云フ點モ考ヘラレタ

ガ、亞米利加、若シクハ其ノ他カラアレダ

ケノ木材ヲ輸入シテ居ルノダカラ、日滿產

業一體ノ上カラ云ッテ、何故ニ滿洲ノ木材ガ

日本ニ入り得ルヤウニ有ラユル方法ヲ御講

ジニナラナイノカト思フノデアリマス、況

ヤ先程申シマシタヤウニ一般的ニハ日本ノ

木材ヲ下ゲテモ宜イト考ヘテ居ルノダ、輸

入税ヲ下ゲルヤウニ考ヘテ居ルノダト云フ

ヤウナ御答辯ヲ拜聽シマスト、一層其ノ感

ヲ深クスルノデアリマスガ、此ノ點如何ガ

デアリマスガ、或ハ大藏省ノ當局カラデナ

クテモ結構デゴザイマス

○政府委員(太田正孝君) 只今大藏男爵ノ

御尋ニナリマシタ問題ハ、此ノ七十一議會

ニ於ケル衆議院ノ方デモ同様ニ御質問ガアリマシテ、大藏大臣カラ申上ゲマシタ言葉

其ノ儘ヲ申上ゲタイト存ジマスガ、御示シノ點ニ付テハ同ジヤウナ感じヲ持ッテ居ル人ガ多イノデゴザイマスケレドモ、何分此ノ問題ヲ決メルニハ複雑ナ關係ガ色々ゴザイマシテ次ノ議會迄ニ何トカ議ヲ纏メタイ、斯ウ云フ所ニ行ッテ居ルノデゴザイマス、其ノ旨ヲ申上ゲマス

○男爵大藏公望君

隨分永イ間ノ問題デシテ、今度初メテ申上ゲルノデハナイ、次ノ議會迄ニ、次ノ議會迄ニトナリマス、何時迄經ッテモ「メキシコ」ノ何ノヤウニ……次ノ議會、次ノ議會デハ分リマセヌノデ、ドウカ第七十二議會ニハハッキリ御提出ニナルコトヲ御願ヒ申上ゲマス、私ノ御伺ヒシタイコトハ鐵以外ハ是ダケデゴザイマス

○委員長(伯爵黒木三三君)

ソレデハ如何ガデゴザイマスカ、鐵ノ輸入税免除ニ關スル法律案、之ニ關シマシテ先ヅ當局ヘノ御質疑ガゴザイマスレバナシテ戴キタイト存ジマス……御質疑ガ別ニゴザイマセヌケレバ次ニ移リマシテ、大正九年法律第五十三號中改正法律案ノ朝鮮ノ問題デゴザイマスガ、之ニ關シマシテ御質疑ヲ願ヒタイ

ト思ヒマス

○政府委員(太田正孝君)

先程大藏男爵カラノ滿洲カラ輸入スル鐵ノ問題ニ付テノ中デゴザイマスガ、滿洲國カラノ輸入爲替ニ付キマシテハ原則トシテ許可シテ居リマス、本溪湖ノ鉄鐵輸入モ勿論原則トシテ許可シテ居ル筈デゴザイマス、若シ不許可ノモノガアリマスレバ能ク取調ベテ御答申上ゲタイト存ジマス

○男爵大藏公望君

別ニ御答辯要リマセヌガ、ドウカドン／＼入リマシヤウニ御工夫願ヒタイノデゴザイマス

○子爵高橋是賢君

鐵ノコトヲチヨット伺ヒタイ、鐵ノ輸入税ヲ免除サレルト云フコトハ非常ニ多クノ鐵ノ利用者ガ供給ヲ受ケル爲ニサレルノデ、然ルニ最近鐵ノ需要ハ頓ニ殖エマシテ、ナカ／＼之ヲ得ルニ時日モ掛リ、且値段モ上ッテ居ル、處ガ之ヲ注文シマシテモ一方ニ爲替管理ト云フコトガアリマシテ、ナカ／＼是ハムヅカシイコトデアリマス、此ノ點ニ付テ大藏當局ハ何トカ緩和ヲスルヤウナ御考ハアリマセヌデセウカ

○政府委員(太田正孝君)

御聞及ビカト存ジマスガ、大分輸入爲替ノ關係デハ認メテ居リマスルモノガ多イノデ、特ニ鐵ニ關シ

マシテハ既ニ輸入ト決リマシタモノモ相當多額ニ達シテ居ルノデゴザイマス、現在ノ所デハ今後ノ處置ニ付テ色々研究シテ居リマスルガ、軍部ノ證明アルモノニ付テハ許スト云フ現在ニ於テ處置シテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○子爵高橋是賢君

サウスルト今ノハ軍部ノ關係ノミニ使用サレル材料ナリ機械ナリト云フモノハドン／＼爲替管理ニ依ッテ御許シニナルト云フ御方針ト云フコトヲ承リマシテ、餘程是ハ緩和サレルデアラウト思ヒマスガ、一面商人ガ入レルモノニ付キマシテハドウ云フ風ナ限度ヲ御決メニナルカ、其ノ許ス許サヌト云フコトノ目安ハドウ云フ所ニ置カレマスカ、伺ヒタイと思ヒマス

○政府委員(太田正孝君)

高橋委員ニ御答申上ゲマス、實ハ今國際收支ノ均衡ト云フコトハ一番大キナ財政問題デゴザイマシテ、隨分色々輸入關係ノ御方々モ御迷惑ヲ掛ケル點ガアラウカト思ヒマス、併シ鐵ニ關シマシテハ先程申シマシタヤウニ相當多額ノモノガ既ニ入ッテ居リマスノデ、今ノ所ハ消極的ニ軍部關係ノモノノミヲ入レルト云フ態度ヲ執ッテ居リマスノデ、差當リニ於キマシテハ他ノ方面ニ許スコトハ出來ナイヤウナ事情ニナッテ居ルノデゴザイマス、

無論申上ゲル迄モナク突發サレタ此ノ北支事件ノ關係モゴザイマスノデ、其ノ點ニ付テハドウスベキカト云フコトハ今折角考慮中デゴザイマス

○子爵高橋是賢君

私ノ質問ハ是デ終リマス

○子爵伊東二郎君

鐵ノ輸入税ヲ免稅スルト云フ此ノ案ノ初メニ、昭和十四年六月三十日迄ト書イテアリマスガ、是ハ何カ是迄免稅シテ置ケバ後ハ又輸入税ヲ課スルトカ何カ、其處迄來レバ政府ノ御考ニナッタ效果ガ現レルト云フ御積リナノデスカ

○政府委員(太田正孝君)

御示シニナリマシタ通り大體其ノ頃ニ著ケバ、計畫ガ行クダラウト云フ目安ノ下ニ其ノ期日ヲ決メタ次第デゴザイマス

○子爵松友光君

大正九年法律第五十三號中改正法律案、此ノ方ニ付テ御伺ヒ致シマス、目下政府ノ方針トシテ滿洲一如ト云フコトヲ唱ヘラレテ居ルヤデアリマスガ、滿洲カラ朝鮮ヘ入ル品物又朝鮮カラ滿洲ヘ入ル品物、之ニ對シテ關稅ヲ將來ノ方針トシテ引下ゲ或ハ免除スルト云フ風ナ方針ノ下ニ段々進ンデ行カレルノデアリマスガ、寧ロサウシナイトスレバ滿洲一如ト云フ實際ノ理想ニ近付クコトニ甚ダ遠クハナイ

カ、サウ思フノデアリマス、ソレ等ノ方針ニ付テ大體同ヒタイト思ヒマス

○政府委員(太田正孝君) 是ハ關稅問題ノ

一番大キナ問題デゴザイマシテ、日本ノ關稅ト滿洲國ノ關稅トラドウ云フ風ニシテ行クカ、經濟ヲ一體トシテヤツテ行ク上ニハ當然到著スベキ問題デゴザイマシテ、尤モ國境ニ近イ方面ニ付キマシテハ拓務省ノ所管ニナツテ、此ノ法案ノ一ツガ出テ居ル如ク、陸接國境ニ於ケル問題ハ別デゴザイマスガ、日滿關稅ヲドウシテ行クカ、斯ウ云フコトハ非常ニ大キナ問題デ先年來各關係當局ノ間デ色々論議ガ行ハレテ居ルノデゴザイマス、問題ハ之ヲ統一一致シマス云フコトガ第三國ニドウ云フ關係ヲ持ツカト云フコトニナリマスノデ、特ニ其ノ點ニ付キマシテハ外務省關係ノ問題ガ起ツテ來ルノデアリマス、廣ク考ヘマスト云フト、諸外國ニ於キマシテモ隨分第三國ニ利益ヲ與ヘザル特惠關稅ヲ以テシテ居ル、例ヘバ「アメリカ」ト「キューバ」ノ如キ或ハ「イギリス」本國ト印度トノ如キ色々ナ、問題ガアリマス、此ノ問題ニ付キマシテ、又最惠國約款ノ關係上キツパリト日本ト滿洲國トノ間ノ關稅ヲ取ツテシマツテシマウト云フ所迄ハマダ議ガ熟シテ居リマセス、但シ外ノ

國カラ入ッテ來テモ差支ヘナイト斯ウ云ツタモノニ付キマシテハ認メヨウト云フ意味デ、今回モ人造石油ニ付キマシテハ免稅シテヤツテ行カウト云フ考ヲ起シタヤウナ次第デアリマス、要スルニ日滿經濟一體ト云フ問題ノ關稅ニ關スル一番大キナ問題デゴザイマシテ、第三國ニ對スル關係カラマダ決リ兼ねテ居ルヤウナ狀況デゴザイマス

○子爵裏松友光君 只今ノ御説明ニ依ッテ

日滿經濟關係、殊ニ滿鮮ノ關稅ノ問題ニ付テ十分考慮ヲ拂フト云フコトヲ伺ヒマシテ非常ニ喜ンデ居ル次第デアリマス、尙大正九年法律第五十三號ニ現レテ居ルノハ、極ク枝葉末節ノ問題デゴザイマスガ、望ム所ハ根本問題ニ付テ成ルベク速カニ御解決アラムコトヲ希望致シマス

○政府委員(八角三郎君) 只今ノ大正九年

法律五十三號ノ改正ハ只今仰セニナリマシタヤウナ、ホンノ内地ノ關稅改正等ニ付キマシテ、ソレニ附隨致シマシテ、朝鮮デ同ジヤウナ立場デヤリマシタノデ、根本ハ是ハ先程太田政府委員カラモ申上ゲマシタ通り經濟的、行政的ニ考ヘマシテ大キク是ハ考ヘテ行カナケレバナラスト存ジマス、サウ云フヤウナ方針デ研究致シテ居ル次第デゴザイマス

○委員長(伯爵黒木三次君) 大藏男爵、今

商工省ノ政府委員ガ御見エニナリマシタカラ鐵ニ關シテノ御質問ヲ御願ヒ致シマス

○男爵大藏公望君 ソレデハモウ一遍申上

ゲマスガ、今回鐵ノ輸入稅ヲ免除セラレルノデアリマスガ、之ヲ免除シマスレバ日本ノ欲スル量ハ大體入ル御見込デアリマセウカ、若シ輸入稅ヲ免除シテモナカノ望ム量ハ入ラストスレバ、其ノ對策ハドウ云フ對策ヲ御執リニナルノデアリマセウカ、大體鐵ハ何年頃ニ達スレバ自給自足ノ域ニ達スルノデアリマスガ、大體ノ何ト申シマスカ製鐵鐵礦國策ノ概要ヲ御示シ願ヒタイ

○政府委員(東榮二君) 鐵礦自給ノ見透シ

ニ付キマシテハ、商工省トシマシテハ一應ノ目標ハ立テマシテ、私共ノ試案ト云フヤウナモノハ持ッテ居リマス譯デアリマス、之ニ付キマシテハ尙具體的ニハ檢討ヲ要シマス分モゴザイマスシ、又關係廳ト多少相談ヲ致シマス必要ノアル點モゴザイマスノデ、確定的ニハ申上ゲ兼ねルノデゴザイマスガ、大體五年後ニハ日本ノ鐵礦ノ自給ヲ可能ニシタイ、斯ウ云フ目標ヲ以テ擴張計畫ヲ進メテ居ル次第デアリマス、唯併シ其ノ時ニナリマシテモ原料タル鐵礦石ハ需要ノ約三分ノ一ハ依然トシ

テ之ヲ支那、南洋、濠洲等カラ仰ガナケレバナラナイト考ヘテ居リマス、尤モ非常ノ場合ニ際シマシテ、是等ノ地方カラ原鐵石ノ輸入ガ不可能デアルト云フ場合ニハ、内地及ビ朝鮮等ニアリマス貧鐵及ビ砂鐵ヲ混用スルトカ之ヲ利用致シマシテ、鐵石ニ付キマシテモ自給ガ出來ルト云フ目標ヲ大體立テテ居リマスノデスガ、鐵石ノ輸入ガ可能デアリマスレバ、輸入ノ大體三分ノ一程度ハ鐵石ノ輸入ハ已ムヲ得ナイモノト考ヘテ居リマス、製品ニ付キマシテハ只今ノ滿洲國ノ鐵礦ノ増產計畫デハ鉄鐵約六十萬「トン」鐵片等ノ半製品約四十萬「トン」ヲ日本ヘ輸出スルト云フ計畫ニナツテ居ルノデアリマスガ、只今私共ガ試案トシテ考ヘテ居リマス目標ニ依リマシテ、滿洲國以外ノ外國カラハ鉄鐵、半製品其ノ他「スクラップ」等ノ輸入ヲ成ルベクシナイト云フ目標カラ致シマスレバ、滿洲カラモウ少シ鉄鐵及ビ半製品ノ輸入ヲ仰ギタイ、斯ウ云フ考ヲ持ッテ居リマス、其ノ數量ト致シマシテハ鉄鐵約百萬「トン」半製品約百萬「トン」ヲ滿洲カラ持ッテ來タイ、サウスレバ大體其ノ他

ノ外國カラ是等ノ製品ヲ輸入スルコトナクシテ自給ガ出來ハシナイカ、斯ウ云フ目標ヲ立テテ居ル次第デアリマス

○男爵大藏公望君 モウ一ツ伺ヒマシタノ

ハ、現在ノ狀態ニ於テ輸入税ヲ免除スレバ、日本ノ鐵ノ不足ト云フモノヲ「カバ」シ得ルカ、若シ「カバ」シ得ナイナラバ如何ナル對策アリヤ、此ノ點ニ付テ御所見ヲ伺ヒタイ

○政府委員(東榮二君) 差當ッテ此處少クトモ二三年ハ矢張り鉄及ビ半製品竝ニ「スクラップ」ノ輸入ヲ相當シナケレバナラスト思ッテ居リマス、是ハ輸入ガ可能デアルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、勿論事態ノ變化ニ因リマシテ、是ハ必ズ絶對ニ安全ダトハ或ハ申上ゲラレナイカモ知レマセスガ、今ノ所ハ大體必要ナダケ輸入ガ出來テ居リマスノデ、今後モサウ直グ急ニ全部杜絶スルト云フヤウナコトハアルマイト存ジテ居リマス

○男爵大藏公望君 先程ノ御話ニ五年後ニハ自給自足ガ出來ルト云フ御話デアリマシタガ、其ノ時分ノ數量ハ凡ソ何萬「トン」ノ御見込デアリマスカ

○政府委員(東榮二君) 之モ確定致シタノデハゴザイマセスケレドモ、大體ノ目標トシマシテ、先ヅ日滿ヲ通ジテ鑛材ガ一千萬「トン」ト云フ目標デ進ンデ居リマス

○男爵大藏公望君 其ノ一千萬「トン」ノ内

ニハ確カ百萬「トン」ノ砂鐵ト百萬「トン」ノ砂鐵トヲ含ンデ居ルヤウニ伺ヒマシタガ、サウデゴザイマスカ

○政府委員(東榮二君) 數量ヲ確カニ百萬「トン」トハ申上ゲ兼ネマスガ、砂鐵及硫化鐵ノモノモ含ンデ居リマス

○男爵大藏公望君 砂鐵ニ付テハナカク硫黃ヲ實際的ニ取ルト云フコトハ目下試驗中ノヤウナ程度ノコトト承ッテ居リマスシ、又硫化鐵ノ硫黃ヲ取ルト云フコトハナカクムヅカシイノデ、チット御計畫ガ樂觀ニ過ギヤシナイカト云フ感ジラ持ツノデアリマスガ、何トカモツト確實ナ方法ヲ御考ニナルヤウナ御考ハナイノデアリマスガ、マダ本當ニ工業トシテ餘程疑ハシイト思フヤウナ砂鐵ナリ、若シクハ硫化鐵ヲ含ムモノハ、伺ッテ居ルノハ百「トン」ノヤウニ伺ッテ居リマスガ、大分政府ノ御計畫モアヤフヤナモノダナト云フ氣ガスルノデアリマス、私案ト申サレマスノデ、政府ノ御計畫デアリマスマイガ、私案トシマシテモ、チット心細イヤウナ氣ガスルノデアリマス、如何デスカ

○政府委員(東榮二君) 砂鐵ノ利用ニ付キマシテハ、從來色々政府トシテ研究ヲ致シテ居リマスノデアリマスガ、之ガ利用ハ御話ノ通りマダ十分ニ研究ガ出來テ居ルトハ

申上ゲ兼ネルカト思ヒマス、唯併シ一部特殊ノ鋼材等ニ付キマシテハ、砂鐵ヲ原料ニシテ、既ニ事業化シテ居ル或程度ハ事業化シテ居ルモノモアリマス、又之ヲ熔鑛爐ニ使ヒマシテ、普通鉄鐵トシテノ原料トシテ使ヒマスコトニ付テモ、日鐵ニ於キマシテ最近相當研究ガ進ンデ居リマシテ、是モ試驗的ニハ既ニ成功シタト申上ゲテ宜シイト存ジマス、是モ早晚事業化出來ルモノト見テ居リマス、其ノ他朝鮮邊リニ於ケル貧鐵ノ處理ト云フヤウナコトニ付テモ相當程度計畫ガ進ンデ居リマスノデアリマス、大體五年後ニ於テ鐵鋼ノ原料タル鑛石ノ需要ノ三分ノ二程度ヲ自給スルコトハ、サウ非常ナ無謀ナ計畫デハナイモノト私共ハ考ヘテ居リマス

○男爵大藏公望君 モウ一遍ダケ伺ヒタイノデスガ今ノ千萬「トン」ノ中ニハ、滿洲カラ參リマスモノニ何「トン」ゴザイマシテ、又朝鮮ノ茂山鐵鑛ノ計畫ガ其ノ中ニ含マレテ居リマスカ

○政府委員(東榮二君) 朝鮮ノ茂山ノ鐵鑛ハ其ノ中ニ含ンデ居リマス、ソレカラ滿洲カラ内地ヘ採ッテ參リマスモノハ先程申上ゲマシタヤウニ、鉄鐵百萬「トン」、鑛片等ノ半製品百萬「トン」ト云フ豫定デアリマス

○男爵大藏公望君 ソレハモウ少シ殖エ得ルノヂヤナイデゴザイマセウカ、今ノ滿洲二百萬「トン」ト云フヤウナコトハ、チット御計畫ガ小サ過ギルノヂヤナイカト云フ氣ガ致シマスガ、如何デゴザイマセウカ

○政府委員(東榮二君) 滿洲カラノ輸入ガ若シモウ少シ多量ニ可能デアリマスレバ、鐵鋼自給ノ計畫ハ更ニ容易ニナリマス譯デアリマス、サウ云フコトガ可能デアリマスレバ、是ハ内地カラ申セバ非常ニ結構ナコトダト思ヒマス

○山川端夫君 今ノ御質問ニ關聯致シマシテ一點伺ヒタイデスガ、最近新聞デ見マス「アメリカ」デ大分「スクラップ」ヲ日本ニ輸出スルコトヲ禁ズルト云フ議論ガ強マツテ來テ居ルヤウデアリマス、日本ノ今ノ製鐵狀況カラ見マス、日本ノ今ノ輸入出來ナイト非常ニ打撃ヲ受ケルト云フヤウニ伺ヒマスガ、サウ云フ點ニ付テ御意見ヲ伺ヒマス

○政府委員(東榮二君) 「アメリカ」ニ於キマシテ「スクラップ」ノ輸出ヲ禁止シナケバिकासト云フヤウナ意見ガゴザイマスコトハ承知致シテ居リマス、尙現狀ニ於キマシテハ「スクラップ」ノ輸入ガ全然止リマスレバ、我が國ノ鋼材ノ供給ニ相當支障ガアリ

マスコトハ御話ノ通りデゴザイマス、唯五年後ニ、私共ノ只今計畫シテ居リマス擴張計畫ガ完成致シマシタ曉ニハ、「スクラップ」ノ輸入ガ全然止ッテモ支障ナク鐵鋼ノ供給ヲ爲シ得ルコトヲ目標トシテ進ンデ居リマス譯デアリマス

○山川端夫君 現状デ「スクラップ」ノ入ラナクナルト非常ニ御困リニナルト云フコトモ伺ッテ居リマスガ、ソレニ對シテ政府デハ是ハ外務省ノ方ノ關係ノ方ニ御尋シタ方ガ宜イカモ知レマセヌガ、「スクラップ」ノ輸入ニ付テ何カ適當ナ手段ヲ講ズル、サウ云フ手段ヲ執ッテ居ラレマスカドウカ、ソレヲ承リタイ

○政府委員(太田正孝君) 外務省ノ方カラ御答スル譯デアリマスガ、先程鑛山局長ノ御話モアリマシタガ、私共ニ入ッテ情報デハ、隨分山川サンノ御示シノヤウナ禁止論モアリマスガ、反對ニ「スクラップ」ヲ賣ル方ノ業者ノ色々運動モゴザイマシテ、只今ノ所デハ大藏省側ノ見所デハ、ソレナコトニハ立到ラナイト斯ウ考ヘテ居リマス、樂觀ト云ッテモ向フノ材料デゴザイマスガ、私共ノ方ニ入ッテ材料ニ於キマシテハ、サウ云フ御言葉ノヤウナ方面ノコトモ聞キマシタガ、「スクラップ」ノ輸出業者ノ方デ其反

對運動ガ相當強イヤウニ承知シテ居リマス
○男爵安場保健君 今ノ問題ニ關聯シテチヨット伺ヒマスルガ、先程ノ「一千万」「トン」ノ製鐵ノコトニ付キマシテハ、鑛石ハ南洋方面ノモノハ取レルト云フ見込ノ下ニ御立デニナッテイラシヤルンデハナイカト思ヒマスガ、サウ思ッテ間違ヒハアリマセヌカ、ソレガ止ッテモ「一千万」「トン」ヤレルト云フ御見込デアリマスカ

○政府委員(東榮二君) 先程申上ゲマシタヤウニ、支那、南洋若シクハ濠洲等カラ約三分ノ一ノ程度ノ鑛石ヲ輸入シテ、鐵鑛ノ需給ヲシタイト斯ウ云フ考デ居リマスガ、併シ非常ナ場合ニ際シマシテ、是等ノ地方カラ鑛石ノ輸入ガ止リマシタ場合ニハ、内地ノ砂鐵及貧鐵等ヲ使用スルコトニ依ッテ供給ニハ支障ハナイモノト考ヘテ居リマス
○委員長(伯爵黒木三次君) ソレデハドウゾ關稅定率法中改正法律案ト、昭和七年法律第四號中改正法律案大正十四年法律第五十一號中改正法律案ノ此ノ三案ニ付キマシテ御質問ガアレバドウゾ……

○菅原通敬君 此ノ關稅法中改正法律案、其ノ他今日茲ニ取上ゲテ審議スルコトニナッテ居リマス三案ナルモノハ前内閣ニ於テ前議會ニ提出サレタモノニ對シテ或修正ヲ加

ヘラレタモノト云フヤウニ説明サレテ居ルヤウデアリマスガ、其ノ關稅改正ニ關スル立法ノ精神ト申シマスカ、ソレガ前内閣ノ時ノモノトハ大分違ッテ居ラレルヤウニモ見エルノデアリマス、前内閣ニ於テハ關稅ノ改正ト云フモノヲ增稅計畫ノ一トシテ、關稅ノ改正ニ依ッテ二千萬圓以上ノ增收ヲ圖ル、ソレガ一ツノ目的ニナッテ居ッタヤウデアリマス、今回ノ改正ト云フモノハ此ノ收入ノ増加ヲ圖ルト云フコトガ、一ツノ矢張り目的ニナッテ居ラル、ノデアルカ、唯保護關稅ヲ行ハル、ガ爲ニ、自然ニ生ズル所ノ收入ト云フモノノ結果デアルトノミ見テ宜シイノデアルカ、ソコノ御趣意ハドウアルノカ伺ヒタイノデアリマスガ、今回ノ關稅改正ニ依ッテ關稅收入ノ上ニドレダケノ増減ヲ見ラレルコトニナルノデアルカ、或ハ參考書ニアルカモ知レマセヌケレドモマダ見當リマセヌガ、ドレダケノ増減ガ行ハレ、結果ニ於テハ收入ニ於テドレダケノ增收ヲ來スカ、成ルベクハ各項毎ニ増減ヲ示サレルヤウナコトニナレバ、自ラ此ノ改正ノ御趣意ト云フモノモ分ルト思ヒマス、ソコニ付テハ未ダ御説明ガナイヤウデアリマスルカラ、ソレヲ一ツ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(太田正孝君) 菅原サンノ御質問ニ對シテ御答ヘ申上ゲマス、此ノ關稅ガ收入關係ニ於テハ前ノ内閣ノ考ヘタ時トドウ違ッテ居ルカ、茲ニ三ツ固メテ御審議ニナッテ居ル關係カラ申上ゲマスルト云フト、此ノ前ノ議會ニ衆議院ニ於テ審議致シマシタ時ニハ、マダ三割五分關稅ノ撤廢ト云フモノハ入ッテ居リマセナカッタノデ、其ノ點ガ增收セラル、分カラ引カル、コトニナリマス、細カイコトヲ申上ゲマスルト、此ノ前ノ提案ノ時ニハ「チリ」國トノ關係ガアリマシテ、沃度ノ關稅モ入ッテ居リマシタガ、是モ話ガ付キマシテ、日本ニ亂暴ナ「ダムピング」ヲシナイト云フコトデ今度取止メニナリマシタノデ、其ノ方ノ收入モ響イデ参リマスガ、暫ク今度ノ改正ニ依ッテ得ラレル收入額ハ、本年度分ガ六百四十萬圓デゴザイマス

○菅原通敬君 平常化シタ場合ニハ……
○政府委員(太田正孝君) 平常化致シマシタ場合ニハ、一千八百五十萬圓ニナリマシタ場合ニハ、今回ハ今御話ノ三割五分ヲ廢サレルト云フヤウナ特別ナ御考モ加ッテ居ル爲ニ收入ガ少イト云フコトニナリマスガ、此ノ前ノ關稅改正ノ中ニハ輸出統制稅ト云フモノガ入ッテ居ッタ、ソレニ依ッテ何デ

モ四百萬圓バカリノ增收ヲ得テ、其ノ財源ヲ以テ輸出補償制度ヲ擴張スルト云フヤウナ施設ヲナサルト云フ強イ御主張デアッタ、今度ハ其ノ事ハ御拾テニナツタノデアルカ、御拾テニナツタスレバ、其ノ輸出補償制度ノ擴張ト云フモノハドウシテオヤリニナル御考デアリマスカ、ソコヲ一ツ……

○政府委員(太田正孝君) 今回ノ改正案ノ中ニハ申上ゲル迄モナク輸出統制税關係ノモノハ入ッテ居リマセヌノデゴザイマス、ソレノ對策ハドウスルカト云フコトハ商工省ノ所管ニ屬スルカト思ヒマスカラ、私カラ申上ゲルノハドウカト思ヒマス、唯收入關係ハ、實ハ非常ニ此ノ前ノ解散ノ結果色々ナ費目ニ出入ガゴザイマシテ複雑ナ關係ニナツテ居リマスガ、關稅ノ方面ニ於キマシテモ收入額ダケ取レルカト、斯ウ云フ問題ガアル譯デゴザイマスガ、其ノ方ハ只今迄ノ傾向デハドウヤラ行ケルヤウニ存ジマス

カモ知レマセヌガ、之ニ對スル準備ト云フモノハ一體御出來ニナツテ居ルノカドウカ、唯時々刻々、色々ナモノヲ斷片的ニ改正セラレルト云フコトデナシニ、矢張り根本的整理ト云フモノガ必要デアラウト思ヒマスガ、ソレハドウ云フヤウニ御考ヘデアリマスカ

○政府委員(太田正孝君) 實ハ御案内ノ通り廣田内閣ノ時ニ、根本的ト申上ゲテ宜イ大キナ改正案ヲ御作りニナリマシタガ、前内閣ノ時ニ之ヲ撤回致シマシタノデス、デ問題ノ内容ハ國策ニ關係シテ、或ハ重要産業若シクハ原料ニ關シテドウスルカ、又新タニ起ツタ産業ニ對シテ關稅政策上下ウスルカ、更ニ定率法ノ中ニ掲ゲラレテ居ル各品目ノ權衡ヲ得ナイモノニ付テドウスルカ、斯ウ云ツタヤウナ點ガ關稅改正ノ重點ニナラウカト存ジ上ゲマス、廣田内閣ノ時ニ掲ゲラレマシタ全般的ノ改革ノ中デ、重要産業ニモ原料ニモ關スル國策關係ノモノニ付キマシテハ、其ノ時ニ計畫サレマシタ礦油、自動車部分品等ニ付キマシテハ、前内閣ノ時ニモ此ノ案トシテ出シタ譯デゴザイマス、新興産業ニ付キマシテハ常ニ注意ヲ怠ラナイノデゴザイマスガ、廣田内閣ノ時ニ考ヘラレ、林内閣ノ時ニモ其ノ案ヲ繼ギ、更ニ今回モ出スコトニナツテ居リマスル例ヘバ針布或ハ

軸承等ノ品物ニ付キマシテハ同様ニ關稅改正ヲ試ミタ譯デアリマス、各品物ノ間ノ稅率ガ權衡ヲ得ナイト云フコトハ、是ハ非常ニ惡イコトデゴザイマシテ、此ノ點ニ付キマシテハ、御言葉ノ通り怠ラズ注意シテ居リマスガ、廣田内閣ノ時ニ考ヘラレマシタ各品目ノ間ノ權衡ト云フモノハ、大分其ノ後事情ノ異ナツタモノモアリマスノデ、今回ハ其ノ點ニ關シテハ手ヲ觸レナイコトニナツテ居ルノデゴザイマス

○菅原通敬君 先刻何ツタ關稅改正ニ依ッテ收入ノ増加スベキモノノ内譯表ヲ頂戴スルコトガ出來マスカドウデスカ

○政府委員(太田正孝君) 御答ヘ申上ゲマス、礦油關係ト自動車關係ト只今申シマシタ新産業ト申シマスガ、針布外三品サウ云フモノニ付テ極ク大マカナラウンドナムバーラ申上ゲマス、礦油關係ニ於キマシテ千八百十萬圓見當、自動車ノ稅率改正ニ依ル増加ガ二百十萬圓、ソレカラ針布外三品デ稅率改正ニ依ル増加ガ六十七萬圓、以上三種ノ品物ヲ合セマシテ合計二千九十九萬圓ニナリマス、處ガ先程言ヒ落シマシタノデアリマスガ、前ノ内閣ニナクテ今度ノ内閣ニ出タモノハ、新聞用紙ノ稅率ヲ止メテシマツタコトデゴザイマスガ、印刷用紙ノ稅

率改正ニ依ル減ガ三十萬圓ゴザイマス、サウ致シマスと云フト二千六十萬圓增收ト云フコトニナリマス、然ル處鐵ノ免稅ニ依ル收入減ガアリマスルノデ、ソレガ千三百六十萬圓ニナリマス、法律案ニハ大變嚴メシク出テ居リマスガ、關東州硫酸「アンモン」ノ免稅ト云フモノハ僅カニ千圓バカリデゴザイマス、今ノ三割五分稅撤廢ノ爲ニ伴フ所ノ減收額ハザツト六十萬圓バカリデゴザイマス、ソコデ先程申上ゲマシタ差引勘定ヲ致シマスと六百四十萬圓ノ增收ト斯ウ云フコトニナルノデゴザイマス

○菅原通敬君 能ク分リマシタ

○子爵高橋是賢君 此ノ改正ニ依ルト政府ノ專賣品又ハ酒精ノ製造ニ供スル原料品ニシテ、政府ノ輸入ニ係ルモノハ免稅ニナツタ譯デスカ

○政府委員(太田正孝君) サウデス

○子爵高橋是賢君 サウ致シマス、政府ハ無論「アルコール」ヲオヤリニナル其ノ原料ハ無論内地デ御取リニナルガラウト思ヒマス、是ハ輸入ヲスル時ノコトラ豫想サレテ免稅品ニナツテ居ルト思ヒマスガ、農村救済トカ東北振興トカ、色々役所ノ方面ニ於テ御考慮ニナツテ居ラレマスガ、是ハドウモ原料ヲ輸入シタ方ガ廉イカラト云フコト

デ、内地ノ原料ヨリモ輸入ヲ待ツ方算盤
上宜イト云フコトカラ、斯ウ云フ規定ヲ置
カレタトスルト甚ダ矛盾シタコトニナルト
思ヒマスガ、其ノ邊ハドウ云フコトニナリ
マスカ

○政府委員(太田正孝君) 高橋委員ノ御尤
モナル御質問デアリマスガ、此ノ規定ヲ設
ケマシタノハ、凶作ナドノ場合ニ原料ヲ得
ラレナイ場合ノ用意デザイイマシテ、内地
ノ農産物ヲ、殊ニ農民ニ大切ナ産業ヲ侵サ
ウト云フ意味デヤッタノデハゴザイマセヌ
デアリマス、凶作ノ時ノ用意ニ過ギマセヌ
ノデ、政府ト致シマシテハ左様ナ考ハ毛頭
持ッテ居リマセヌカラ念ノ爲ニ申上ゲマス

○子爵高橋是賢君 分リマシタ

○委員長(伯爵黒木三次君) 皆様ニチヨッ

ト申上ゲマスルガ、大臣ハ今日ハ衆議院ノ
方ニ増稅案ガ出テ居ル關係上此ノ方ニ參ル
コトガ出来ナイサウデアリマス、從テ明朝
出来ル限リ來テ吳レト云フコトラ要求致シ
マシタカラ、大臣ヘノ御質問ハ明日ノ朝十
時カラ再開致シタイト存ジマスカラ、其時
ニ御譲リヲ願ヒタイト思ヒマス

○菅原通敬君 私ハ政務次官カラ伺ヒマシ

タカラ宜シウゴザイマス

○子爵黒松友光君 大正七年法律第四號中

改正法律案、之ニ付テ御伺ヒ致シマスガ、

其ノ附則ニ本案ノ改正案ノ實施期限ヲ昭和
十二年十月一日ト斯ウ云フ風ニサレテアリ
マスガ、思ヒマスノニ今度ノ特別議會デモ
アリ直グニ之ヲ實施スルト云フコトニナリ
マスト云フト、實際問題トシテ色々支障ヲ
來スヤウナコトヲ御考慮ニナッテ、斯ウ云フ
風ニ約二箇月ノ間施行期限ヲ延バサレタト
推測スルノデアリマスガ、今迄ノ前例モ餘
リナイコトデゴザイマスルシ、又通常議會
ニ於テ既ニ四月一日カラ施行サレルト云フ
コトニナリマスレバ、其處ニ數箇月ノ猶豫
期間モアルト云フヤウナコトデゴザイマス
カラ、此ノ臨時議會ニ於ケル極メテ稀ナル
例外的ノ規定デアルト云フ風ニ解スベキモ
ノデゴザイマスガ、其ノ點ニ付テハ如何デ
スカ

○政府委員(太田正孝君) 裏松子爵ノ言ハ

レマス通りデゴザイマシテ、實ハ普通ノ場
合デゴザイマス、御示シノ通り例ヘバ普
通議會デ一月提案サレマシテ、三月貴衆
兩院ノ審議ニ御願ヒシテ、四月ニ出スト云
フコトニナルト大體二箇月位アルノデゴザ
イマス、然ルニ今回ハ特別議會デ非常ニ期
間モ短イシ、其ノ點モ考慮シナケレバナラ
スト云フノデ以テ、マア二箇月位其處ニ取ッ

タラ宜カラウ、申上ダレマデモナク關稅ヲ

動かスト云フコトハ、生産者ニモ消費者ニ
モ響ク問題デゴザイマス、殊ニ今回ノ三割
五歩稅撤廢ト云フノハ物價ノ調整ト云フヤ
ウナ意味モゴザイマスルガ、出來得ルナラ
バ、消費者ノ利益ヲ以テ言フナラバ、即刻
行フト云フコトデアルベキデゴザイマスガ、
經濟界ニ非常ナ打撃ヲ與ヘルト云フコトハ
此ノ内閣ノ方針デゴザイマセヌノデ、其處
ニ矢張り生産者ノ建前モ考ヘマシテ、二箇
月ヲ取ツタノデアリマス、砂糖ナドノ商取引
ニ於テハ隨分長イ期間ガアルノデアリマス
ガ、其處迄見ルト云フコトハ關稅ノ制度ノ
建前カラ出來マセヌノデ、普通議會ニ於ケ
ル建前ヲ取リマシテ、三割五歩關稅ニ關シ
テハ砂糖ノミナラズ外ノ銅ニ致シマシテモ、
鉛ニ致シマシテモ同様ニ十月一日カラ行フ
コトニ致シタイ、同時ニ出ル法律ノ文面カ
ラ申シマス、他ノ方ハ直グ行ッテ、三割五歩
稅關稅タケ十月一日ト云フト其處ニ法律ノ
形式上ニ不揃ハゴザイマスケレドモ、元々
外ノ方ハ貴族院ニハ參リマセヌデシタガ、
世間ニ棚晒シニナッタ案デゴザイマシテ、既
ニ當業者ニ於テハ御用意ガアッタ譯デゴザ
イマスカラ、其處ニハ十月十日ト云フ期限
ハ與ヘズ、今度新タニ出タ三割五分關稅撤

廢ニ付テノミ十月一日カラ行フ、是ハ生産
者及消費者ニ對スル關稅ヲ考ヘテ、サウ云
フ風ニ致シタ次第デアリマス、從テ之ヲ以
テ普通ノ場合ニ於ケル通常議會ニ審議ヲ御
願ヒスル場合ニ於ケル前例トハ致シタクナ
イ、斯ウ考ヘル次第デアリマス

○子爵黒松友光君 只今ノ御説明ニ依ッテ
明快ニ承知致シマシタガ通常議會ノ先例ト
云フコトニハ絶對ニナラナイヤウニ希望シ
テ置キマス

○大澤德太郎君 私チヨット席ヲ外シテ居
リマシテ、ドナタカラカ御質問ガアツカモ
知レマセヌガ、既ニ御質問ガアツナラバ又
速記録デ拜見致シマスカラ……、自動車
ノ部分品ノコトニ付テ伺ヒタイト思ヒマ
ス、今現在日本デ出來マスル自動車ノ「パー
ツ」デゴザイマスネ、ソレ等ハマダ十
分ニ使用ニ堪ヘ得ルモノガ比較的少イト
云フ風ニ私共ハ聞イテ居リマス、現ニ豐
田或ハ日産ト云フヤウナ國產ノ自動車
工場ニ於キマシテモ、主要部分ノモノハ
外國品ヲ使ッテ居ラレルカノヤウニ聞イテ
居リマス、其ノ場合ニ輸入稅ヲ斯ウヤッテ御
上ゲニナルト云フコトハ、一方デハ自動車
ノ製造ヲ頻リニ獎勵ラシテ居ラレマシテ、
其ノ原料タル部分品ガ非常ニ高ク付クト云

フヤウナ意味合ヒニナルト存ジマスノデ、少シ私ハ其ノ邊ノ了解ヲ致シ兼ネルノデアリマシテ、ソレニ付テ政府ハ今、現在日本ノ自動車ノ部分品ノ性能ニ付テドンナ風ニ御覽ニナッテ居リマスカ、一應御伺ヒシタイト思ヒマス

○政府委員(小島新一君) 御答へ申上ゲマス、只今政府ノ許可ヲ受ケマシテ自動車製造事業ヲ經營致シテ居リマスモノハ、豊田紡織機株式會社並ニ日產自動車株式會社デアリマスガ、此ノ兩社ニ於キマシテ自動車ヲ製造致シマスニ付キマシテ、其ノ部分品ノ性能ガ果シテ如何カト云フ意味ノ御尋ト存ジマスルガ、當初豊田紡織機株式會社ニ於キマシテ自動車ヲ製造致シマシタ場合ニ、其ノ性能ガ果シテ如何ナモノデアラウカト云フ點ニ付キマシテハ、多少案ゼラレマシタ點モナイデハナイノデアリマシタケレドモ、其ノ後相當ニ機械設備ノ改善モ圖リマシタシ、又技術方面ニ於テモ可ナリ熟練ヲ經テ參リマシタノデ、只今ニ於キマシテハ其ノ性能ニ於キマシテハ、外國ノ製造ニ係リマスル大衆車ノソレニ比シマシテ、左迄遜色ノナイ程度ニ迄進ンデ居ルト、左様ニ私共ハ考ヘテ居リマス、日產自動車株式會社ニ於キマシテハ、實ハ設備機械ヲ外國

カラノ輸入ニ俟ッテ居リマシタ爲ニ、其ノ設備ノ整備ニ時ヲ要シマシテ、其ノ製造ニ著手シマシタノハ漸ク今年ノ五月デアリマス、併シナガラ其ノ部分品ニ付キマシテハ十分國產ニ依リマスルモノヲ使用致シマシテ、其ノ自動車ハ市場ニ於テモ之ガ需要ヲ各方面カラ喚ンデ居ル、斯様ナ狀態ニナッテ居リマス、要シマスルニ國產自動車ハ其ノ部分品ハ全部之ヲ國產品ニ依リマシテ製造致シテ居リマシテ、市場ニ於テモ其ノ性能上ハ左迄不自由ヲ生ジテ居ナイ、斯様ニ見テ居リマス、固ヨリ乗用車等ニ付キマシテハ、我が國ニ於ケル從來ノ慣習若シハ趣味ト云フヤウナ點モアリマスノデ、此ノ點ハ或程度國產車ニ慣レルコトガ必要デアリマシガ、車自體ニ付キマシテモ今後一層工夫改善ヲ致ス必要ガアルト思ヒマス、尙申ス迄モナイコトデゴザイマスガ、我が國ニ於キマスル自動車工業ノ確立ト云フコトハ、結局致シマスルニ此ノ部分品工業ヲ發達セシメマシテ、之ガ確立ヲ圖ルト云フコトニ歸著致シマスノデ、折角官民共ニ懸命ニナリマシテ此ノ自動車工業ノ完成ニ努力致シテ居ル次第デアリマス、即チ今回關稅改正ニ依リ將來内外品ノ競争ガ豫想セラレマスル場合ニ於キマシテハ、十分我が國ノ製品ガ

此ノ競争ニ堪ヘ得ルダケノ力ヲ與ヘテ置キタイ、左様ニ考ヘテ居リマス次第デアリマス、尙今回ノ關稅ノ改正ハ自動車及部分品ニ付キマシテハ日佛協定ノ關係上、其ノ實施期限ガ五箇月後ニナリマスガ、現在國產會社ニ於テ折角能力ヲ發揮スルニ努メテ居リマスカラ、本關稅ガ實效ヲ擧ゲル時ニナリマシタナラバ十分國產車ヲ以テ我が國ノ需要ニ應ズルヤウニ相成ルダラウト、斯様ニ考ヘテ居リマス次第デアリマス

○大澤德太郎君 國產ノ部分品モ追々宜クナルト云フ可能性ハ私モ十分認メルノデゴザイマスガ、現在ノ所ニ於キマシテハ未ダ完全トハ申シ難イカト遺憾ナガラ言ハザルヲ得ヌノデアリマス、殊ニ御承知ノ通りニ、今現在日本ニ使ハレテ居リマス大多數ノ車ハ舶來車デアリマス、ソレノ部分品ト云フモノハ隨分澤山要ルノデアリマス、現ニ圓「タ」業者ガ毎日劇シク使ヒマスルト、アノ部分品ト云フモノハ非常ニ澤山要ル、ソレヲ日本ノ製品デ以テ間ニ合ハス場合モゴザイマスルケレドモ、ドウモモウ一ツ持チガ宜クナイトカ、十分使用ニ堪ヘナイトカ云フコトノ爲ニ、已ムヲ得ズ矢張り「フォード」トカ「シボレー」トカ云フ純正ノ附屬品ヲ買ハナクチャナラヌト云フ狀態デアル、サウ云フ

場合ニサウ云フ製品ガ關稅ノ引上ニ依ッテ高クナルト云フコトハ、此ノ多數ノ圓「タ」業者ガ非常ニ困ルト云フ狀態ヲ惹キ起シヤシナイカト思フノデアリマスガ、其ノ邊ニ付テ御當局ノ御考ハ如何デアリマセウカ

○政府委員(小島新一君) 關稅改正ノ結果、其ノ價格ニ及シマスル影響ト云フコトニ付テ御尋デゴザイマスガ、此ノ關稅改正ノ結果、自動車ノ價格ニ付キマシテハ其ノ需給ノ狀態デアリマスドカ、或ハ各社ノ營業政策デアリマスドカ、或ハ其ノ部分品ノ更ニ又材料等ノ値段、若シハ其ノ需給關係ト云フヤウナ點カラ、各種ノ事情カラ考慮セラレルモノデアラウト思フノデアリマス、併シナガラ關稅ノ改正ノ結果、或程度迄價格ノ引上ト云フコトモ有リ得ルカト思フノデゴザイマスケレドモ、假ニ今回ノ改正ニ依リマシテ部分品ノ稅率改正其ノ儘ニ自動車ノ價格ニ及シマシテモ、其ノ程度ハ極メテ僅カデアリマスノデ、此ノ程度ノ關稅改正ノ影響ニ付キマシテハ、我が國民トシマシテハ之ヲ忍ンデ貰フト云フコトガ、自動車工業確立上已ムヲ得ナイコトデアルトス様ニ考ヘテ居リマス

○大澤德太郎君 自動車營業者ト致シマシ

テハ「ガソリン」ノ値上ハアリマスシ、又新車

モ段々高クナリ、殊ニ部分品ガ更ニ高クナルト云フコトハ、相當ナ苦痛デハアルマイ

カト思フノデアリマス、併シナガラ是以上申上ゲルコトハ或ハ議論ニナルカモ存ジマ

セヌシ、私ハ日本ノ國產品ガ今一段進シテ完全ニ近イモノニナリマシタナラバ、十分

關稅ヲ御上ゲニナッテ之ヲ保護ナサルコト云フコトモ已ムヲ得ナイコトカト思ヒマス、

當然ノコトカト思ヒマスルケレドモ、未ダ舶來品ヲ輸入セザルヲ得ヌト云フ場合ニ於

テ、是等ニ餘リ高率ノ關稅ヲ御掛ケニナルト云フコトハ、徒ラニ消費者ヲ苦シムルコ

トガ非常ニ多大アルマイカト云フコトヲバ心配致シマス、併シ是以上ハモウ其ノ點

ハ申上ゲマセヌ、モウ一ツ御尋ネ致シタイノデスガ、私ハ全ク輸入ノ手續ノコトヲ能

ク存ゼヌノデゴザイマスルガ、關稅ガ掛カリマス際ニ、若シ外國カラ參リマス船ガ日

本ノ港ヘ假ニ著イテ居リマセズトモ、日本ノ領海内ニデモ入ッテ居リマシタナラバ、其

ノ港ヘ到著前ト雖モ申告ヲ致シマス、稅關ニ輸入申告ヲ致シマスナラバソレデ元ノ稅

率デ以テ課稅サレルモノナンデゴザイマスカ、或ハ其ノ港ニ到著シタ時分ニ間ニ合ハ

ナイト駄目ナモノデセウカ、一應御伺ヒシ

タイノデス

○政府委員(太田正孝君) ソレハ大澤サンノ仰シヤイマシタ後ノ場合デゴザイマシテ、

到著シタ時デナイトイケマセヌ

○大澤徳太郎君 サウ致シマスモウ一應御尋ネ致シマスガ、例ヘバ荷物ノ陸揚地ガ

横濱ニナッテ居リマス、サウシテ船ガ長崎迄著イテ居ル、モウ既ニ日本ノ港ニハ入ッテ

居ッテ、申告地ハ横濱、「デステイネーシヨ

ン」、陸揚地ハ横濱デ船ガ長崎ニ著イタト云フ時ハ、ドウ云フ御取計ヒニナッテ居リマ

スカ

○政府委員(太田正孝君) 矢張りイケナイコトニナッテ居リマス

○大澤徳太郎君 若シサウナラバ斯ウ云フ場合ハドウデスカ、假ニ初メノ「デステイ

ネーシヨ」ハ横濱デアル、サウシテ長崎ニ船ガ著イタト云フ時分ニ、其ノ荷物ヲ長

崎デ揚ゲサヘスレバ宜イ譯デスネ

○政府委員(太田正孝君) 其ノ時ハ一向差支ナイ、輸入シタ時ニナル譯デゴザイマス

○大澤徳太郎君 サウスルト「デステイ

ネーシヨ」ハドウアラウト、陸揚ゲガ其ノ期日前ニ出來テ居レバ宜イコトニナルノ

デスカ

○政府委員(太田正孝君) 要スルニ到著シ

タ港デ手續ヲナサル其ノ時ガ問題デ、外ニ送

ルト云フコトハ入ッテカラ後ニナリマスカラ關係ゴザイマセヌ……先程モウ一ツ保護

關稅ノ時ニ、ドウモ衆議院ノ方デモサウ云フ議論ガ出マシタガ、保護關稅ヲ設クベキ

時ト云フノハ何時モ問題ニナルノデ、消費者ノ立場デ考ヘテ自動車ニ付テノ御話ガア

リマシタガ、實ヲ申上ゲマスト色々ナ保護關稅ノ時ニナルト、モット早クヤッテ吳レタ

ラト云フヤウナコトモアルノデ、先程ノ自動車ニ付キマシテハ大變議論ガ多イ點デ、殊

ニ此ノ北支事變デ徵發サレタトカ色々ナ例モ聞イテ居リマスガ、何シロ大キナ國產產

業トシテヤッテ行カウ、又燃料政策トシテ大キナ方針ヲ樹テ、居リマスノデ、隨分各方

面ニ御支障ヲ來スコトハ承知シテ居リマスガ、國策ノ上誠ニ已ムヲ得ナイコトデアリ

マスカラ、ソコハ能ク御了承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○大澤徳太郎君 今一ツ伺ヒタイノデスガ、「アメリカ」デハ「ガソリン」ノ稅金デ以テ殆

ド之ヲ道路ノ改築費ニ使ッテ居ルト云フ風ニ聞イテ居リマス、ナカノ其ノセイデゴ

ザイマスカ「アメリカ」ハモウ殆ドドンナ山ノ中ニ行ッテモ、道路ハ非常ニ立派ニ改善サ

レテ鋪裝ガ行届イテ居ルヤウデゴザイマス、

デ道路ノ改善ト自動車ノ發達ト云フノハ、

誠ニ相伴ウテ進シテ參ルモノデゴザイマシテ、アツチヘ參リマシテ、少シ遠イ所ヲ「ドラ

イヴ」致シマス誠ニ其ノ感ガ一層深クナルノデゴザイマス、「ガソリン」ノ今度ノ値上

ト云フコトニ對シテ、少シソレヲ日本ノ道路ノ改善ニ御廻シニナルト云フヤウナ御考

ハゴザイマセヌデスカ

○政府委員(太田正孝君) 稅收入ヲ一ツノ目的ニ使用スルト云フ目的稅ニシマスコト

ハ、地方稅ニ於テハ稅ノ形トシテアルノデゴザイマスガ、國稅トシテ一般收入ニナリ

マシタ場合ニ於キマシテハ、取計ッテサウ云フコトニ致シマスコトハ出來ナイノデゴザ

イマス、勿論我ガ國ノ自動車業ト道路トノ關係ニ付テハ御示シノ通りニシタイト思フ

ノデアリマスガ、アツチモコッチモ色々ナコトヲシナケレバナリマセヌノデ、心餘ッテ其

處迄行ケナイト云フコトニナッテ居リマス、目的稅ニスルコトハ稅ノ建前トシテ出來ナ

イコトト存ジマス、唯地方ノ、小サイト云フトヲカシウゴザイマスガ、地方稅ニナリ

マストサウ云フ風ニ使フ場合モアリマスガ、國ノ收入ニナリマス、サウ云フ意味ノ稅

ハ此ノ前輸出統制稅ト云フ稅ガ出マシタガ、ソレハサウ云フ目的ニナッテ、實ハ變態中ノ

變態デゴザイマス

○大澤徳太郎君 砂糖關稅ニ關シマシテ沖繩縣ノ方カラ陳情書ノヤウナモノガ出テ居リマスガ、今度附加稅ガ撤廢サレルト云フコトニ付キマシテ、沖繩ニ於ケル糖業者ハ非常ニ困憊ニ陥ルデアラウト云フコトヲ心配致シテ居ルノデゴザイマスガ、何カソレニ對シテ政府ハ多少ノ補助ヲヤルトカ何カノ方法ニ依ッテ之ヲ救済スルト云フ御考ヲ御持チナノデアリマスカ

○政府委員(太田正孝君) 今回ノ砂糖ノ三割五分撤廢ト云フ問題ハ、中「ザラ」ダケニナツテ居リマシテ黒糖ノ方ニハ及ビマセヌ、併シナガラ當然「方」ガ下ゲラレマスト云フト其ノ響キヲ受ケマスコトハ當然デゴザイマス、併シナガラ沖繩ノ黒糖ニ付キマシテハ、最近ニ私共ノ見タ所ニ於テハ消費稅撤廢後ノ狀況ナドカラ考ヘ、無論今度三割五分撤廢スルト云フコトノ聲ト共ニ矢張り響キヲ與ヘタ事實ハ認メマスガ、現在ノ程度ニ於キマシテハ、マダ茲ニ補助ヲシヨウトカ、サウ云フ考ニ迄ナツテ居リマセヌ、申上ゲルマデモナク沖繩關係ノ製糖ニ付テ、特ニ黒糖ニ付キマシテ或ハ苗圃ニ付テ、或ハ作種ニ付テ色々ナ意味ニ於テ補助金ハヤツテ居リマス、黒糖並ニ沖繩全體ノ糖業ト云フモ

ノガ重要ナル立場ニアルコトハ篤ト承知シテ居リマスガ、今日ノ狀態ニ於テハ、此ノ關稅撤廢ニ付テ特ニ又補助ヲ出スト云フ所迄參ッテ居ナイト存ズルノデアリマス

○男爵安場保健君 今ノ問題ニ關聯シテテモ、沖繩ノ經濟ニハ餘リ影響ハナイト云フ御見込デ、將來何カ打撃ガ起ッテ行カナクナツテカラデナケレバ補助シナイト云フ意味デスカ

○政府委員(太田正孝君) 大變私ノ言葉ガ足リマセヌデシタガ、全然無イト云フ意味デハゴザイマセヌデス、只今ノ所、例ヘバ一圓トカ何ガシノ値下ガアツタト云フコトモ承知シテ居リマスガ、只今ノ狀況ニ於テハ其處迄考ヘナクテモ宜カラウ、斯ウ云フ意味デアリマス

○男爵安場保健君 沖繩ノ重要ナコトハ御承知ダト云フヤウナ御話デゴザイマシタガ、沖繩ノ財政ガ殆ド行詰ッタノガ稍、是デドウカ斯ウカ立行ッテ居ルノデヤナイカと思フノデゴザイマスガ、其ノ點ハ御考慮ノ中ニ當然入ッテ居ルコトト承知シテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(太田正孝君) 全般的ノ關係ハ内務省ノ御方ノ領分ニナルコトデ私カラ申

上ゲルノハ僭越ト思ヒマスガ、關稅ニ關スル限り又稅制ニ關スル限リニ於テハ只今申上ゲタヤウニ存ジテ居ル次第デゴザイマス

○男爵安場保健君 沖繩ノ、内務省ノ御方御出デニナリマスカ

○委員長(伯爵黒木三次君) 居ラレナイノデス、デハ呼ビマセウ

○稻畑勝太郎君 丁度大藏省ノ御當局ガ御出デニナツテ居リマスノデ……、只今政府委員ノ御話ニ依リマス、時局ニ關シテ此ノ爲替管理ノ方法ヲ考究中デアルト云フ御話ヲ伺ヒマシタガ、固ヨリ國際貸借ノ均衡ヲ得セシメルト云フコトハ、是ハ我が國ノ刻下ノ急務デアリ、又從テ爲替管理法ガ行ハレルト云フコトモ當然ノコトデアアルノデアリマス、ソレニ加フルニ今回時局ガ突發シタノデアリマスカラ、尙更之ニ對シテノ爲替ノ許可或ハ不許可ノ方針ヲ御定メニナルト云フコトハ必要ナコトト思ヒマスガ、唯私ノ希望シ又政府當局ニ御參考迄ニ申上ゲテ置クノハ、固ヨリ我が國ノ國內ニ於テ生産サレルト同様ノモノハ、是ハドウシテモ輸入ヲ防止スル、國產品ニ於テ代用ノ出來ルモノハソレデ代ヘナケレバナラス、斯ウ云フ場合ニアルノデアリマス、併シ悲シイカナ我が國ハ原料ニ不十分ノ國デアツテ、其

ノ原料ガナケレバ生産ガ出來ナイ、斯ウ云フ原料品ニ對シテハ、政府當局トシテモ成ルベク迅速ニ爲替ノ許可ヲ御與ヘニナルヤウニシテ戴ク方針ヲ採ッテ戴キタイト思ヒマス、ト云フモノハ原料ガ我が國ニ無イ、生産者ガ無イ、而シテ其ノ原料ノ不足ノ爲ニ其ノ工業ヲ中止シナケレバナラス、或ハ操業ヲ短縮シナケレバナラス、從テ其ノ製品ガ不足スル爲ニ輸出ガ出來ナイ、又國際ノ貸借ノ均衡ハソレガ爲ニ不完全ノ結果ヲ起スト云フヤウナコトガアルヤウナコトガアツテハナラヌト思ヒマスカラ、其ノ點ハ無論大藏當局ニ於テハ慎重ニ御審議ニナルコトト思ヒマス、只今サウ云フ時局ニ對シマシテノ爲替ノ管理法ヲ御考究ニナツテ居ルト云フコトヲ伺ヒマシタノデ、一言申上ゲテ御願ヒシテ置キタイト思ヒマス、ソレデ爲替ノ許可ガ下ルト此ノ頃ハドン／＼相場ガ上リマシテ、高ク外國カラ買ハナケレバナラスト云フコトガ起リツ、アルノデアリマス

○政府委員(太田正孝君) 御注意ノ點ハ能ク承知シテ置キマス

○委員長(伯爵黒木三次君) 安場男爵ニ伺ヒマスガ、内務當局ハマダ參ッテ居リマセヌシ、明日モ十時カラ開キタイト思ヒマスカラ明日デ如何デゴザイマセウカ

○男爵安場保健君 宜シウゴザイマス

○委員長(伯爵黒木三次君) ソレデハ今日

ハ此ノ程度ニ止メマシテ明日又十時カラ開
キタイト思ヒマス、今日ハ是ニテ散會致シ
マス

午後四時十四分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵黒木 三次君

副委員長 男爵東郷 安君

委員

公爵岩倉 具榮君

侯爵筑波 藤麿君

子爵伊東二郎丸君

子爵裏松 友光君

子爵高橋 是賢君

山川 端夫君

男爵大藏 公望君

男爵安場 保健君

菅原 通敬君

稻畑勝太郎君

磯村豊太郎君

佐々木八十八君

大澤徳太郎君

山田仙之助君

出光 佐三君

政府委員

對滿事務局次長 青木 一男君

内務省地方局長 坂 千秋君

大藏政務次官 太田 正孝君

大藏參與官 中村三之丞君

大藏書記官 尾關 將玄君

農林省水産局長 三宅發士郎君

農林省經濟更生部長 小平 權一君

商工省工務局長 小島 新一君

商工省鑛山局長 東 榮二君

燃料局長官 竹内 可吉君

拓務政務次官 八角 三郎君

拓務省殖産局長 植場 鐵三君

朝鮮總督府財務局長 林 繁藏君

昭和十二年八月六日印刷

昭和十二年八月七日發行

貴族院事務局

印刷者 內閣印刷局